




Dell™ インタラクティブ  
プロジェクタ S520  
取扱説明書



## メモ、注意、警告

-  **メモ**：「メモ」は、プロジェクタの使用に際して役立つ重要な情報です。
-  **注意**：「注意」は、指示に従わない場合ハードウェアの損傷やデータ損失の可能性を示しています。
-  **警告**：「警告」は、物的損害、負傷、もしくは死の可能性を意味します。

-----

本書の内容は予告なく変更されることがあります。

© 2013 Dell Inc. All rights reserved.

Dell Inc. 社の書面による許諾を受けることなく、どのような形態であっても、本書を複製することは固く禁じられています。

本書で使用されている商標：Dell および DELL ロゴは、Dell Inc. の商標です。DLP および DLP ロゴは、TEXAS INSTRUMENTS INCORPORATED の商標です。Microsoft および Windows は、米国および / またはその他の国における Microsoft Corporation の商標または登録商標です。

本書で使用されているその他の商標および製品名はそれぞれの所有者に帰属しています。Dell Inc. は他社の所有する商標や製品名の所有権をすべて放棄します。

モデル：Dell インタラクティブプロジェクタ S520

2013 年 9 月 Rev. A00

# 目次

1	プロジェクタについて	5
2	プロジェクタの接続	9
	コンピュータへの接続	11
	DVD プレーヤーの接続	17
	LAN（構内通信網）への接続	21
3	プロジェクタの使用方法	25
	プロジェクタの電源を入れる	25
	プロジェクタの電源を切る	25
	プロジェクタのフォーカス調整	26
	プロジェクタのミラーのクリーニング	26
	投影画像サイズの調整	27
	リモコンの使用方法	29
	リモートコントロールバッテリーの取り付け	32
	リモコンの動作範囲	33
	オンスクリーンディスプレイの使用方法	34
	マルチメディア入門	54
	<b>USB</b> を使ってマルチメディアにファイルタイプを セットアップする方法	56
	内部メモリを使ってマルチメディアにファイルタイプ をセットアップする方法	58
	<b>USB</b> および内部メモリ用オフィスビューア	60
	<b>USB</b> および内部メモリへのマルチメディアのセット アップ	61
	<b>Intel</b> <sup>®</sup> ワイヤレスディスプレイ（ <b>WiDi</b> ）のインス トール	62
	プロジェクタの <b>Intel</b> <sup>®</sup> <b>WiDi</b> を有効化する	64
	ワイヤレスディスプレイまたは <b>LAN</b> ディスプレイの 設置	67
	プロジェクタのワイヤレスまたは <b>LAN</b> を有効に する	68
	オーディオ投影のインストール	80
	オーディオ投影の利用	86
	<b>Web</b> 管理からプロジェクタの管理	88

	アプリケーショントークンの作成 . . . . .	106
<b>4</b>	<b>プロジェクタのトラブルシューティング . . . . .</b>	<b>107</b>
	ガイド信号 . . . . .	111
	レーザーカーテン LED ガイド信号 . . . . .	112
	ランプの交換 . . . . .	113
<b>5</b>	<b>仕様 . . . . .</b>	<b>115</b>
<b>6</b>	<b>Dell へのお問い合わせ . . . . .</b>	<b>121</b>
	eInstruction へのお問い合わせ . . . . .	122
	Crestron へのお問い合わせ . . . . .	123
<b>7</b>	<b>付録：用語集 . . . . .</b>	<b>124</b>



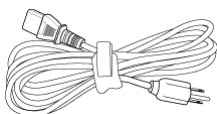
# 1

## プロジェクタについて

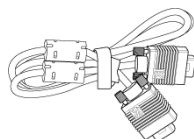
このプロジェクタには次のものが付属しています。すべての付属品が揃っていることをご確認ください。万一、不足の品がありましたら、Dell までご連絡ください。

### 同梱されているもの

電源ケーブル



5 m VGA ケーブル (VGA - VGA)



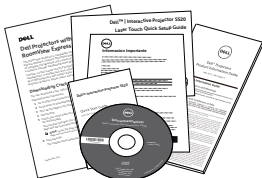
リモコン



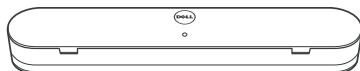
単 4 電池 (2)



CD ユーザーガイドおよび  
ドキュメント



レーザーカーテンキット

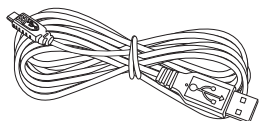


---

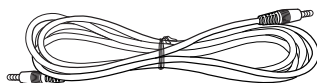
同梱されているもの

---

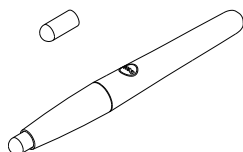
5 m ミニ USB ケーブル  
(USB-A - ミニ USB-B)



2 m DC - DC ケーブル  
(レーザーカーテン用)



パッシブペン (2 個)



Interwrite Workspace CD



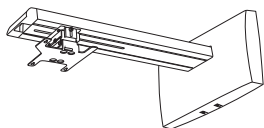
位置合わせバー (3 個)



レーザーカーテン用ネジ

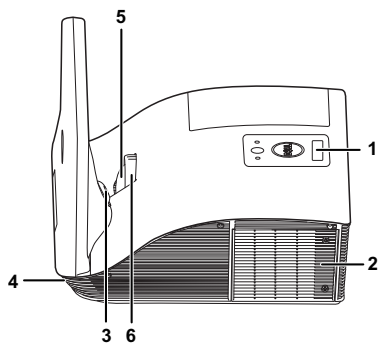


壁取り付けキット

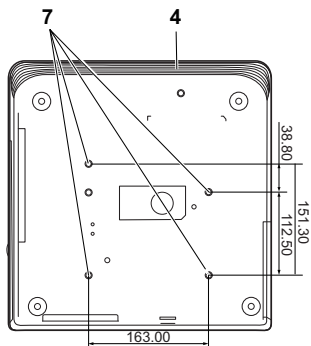


## プロジェクタについて

### 上方図



### 底面図



1	IR レシーバ
2	ランプカバー
3	カメラ
4	10 W スピーカー
5	レンズ
6	フォーカスリング
7	取付ホール（壁掛け用）ねじ穴 M4 x 8 mm 深度。 推奨トルク <10 kgf-cm

## 注意：安全上のご注意

- 1 プロジェクタ機器は熱を発するものの近くでは使用しないでください。
- 2 プロジェクタはほこりの多い場所では使用しないでください。ほこりが原因でシステムが故障し、プロジェクタが自動的にシャットダウンすることがあります。
- 3 プロジェクタはよく換気された場所に設置してください。
- 4 プロジェクタにある通気口や開口部を塞がないでください。
- 5 プロジェクタは 5°C ~ 35°C の周囲温度で操作します。
- 6 プロジェクタの電源をオンにした後、またはオフにした直後は、換気口がきわめて高温になっているため、触れないようにしてください。
- 7 プロジェクタがオンになっている間レンズをのぞき込まないでください。目を損傷する原因となります。
- 8 プロジェクタがオンになっている間、プロジェクタの前に物体を置かないでください。熱で物体が溶けたり燃える原因となります。
- 9 心臓ペースメーカーの傍で、ワイヤレスプロジェクタを使用しないでください。
- 10 医療機器の傍で、ワイヤレスプロジェクタを使用しないでください。
- 11 電子レンジの傍で、ワイヤレスプロジェクタを使用しないでください。

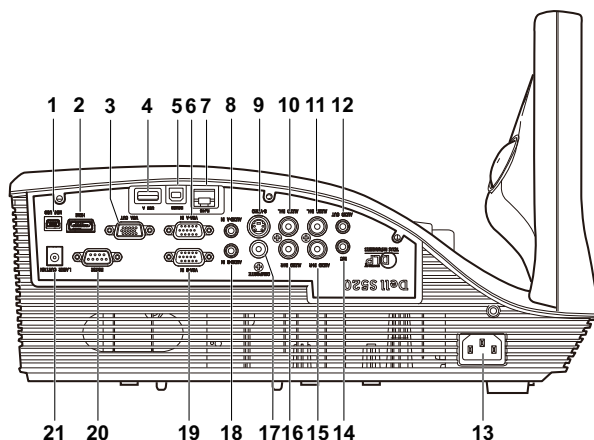


### メモ：

- お客様自身でこのプロジェクタの壁掛けを試みないでください。取り付けは、専門の取り付け業者に依頼してください。
- 推奨されるプロジェクタ壁掛け (P/N:7XY53)。詳細については、Dell サポート Web サイト ([dell.com/support](http://dell.com/support)) を参照してください。
- 詳細については、プロジェクタに付属する **安全情報** を参照してください。
- S520 プロジェクタは室内専用です。

# 2

## プロジェクトタの接続



1	リモートマウス、ファームウェアアップグレード、レーザーカーテンタッチ HID 用ミニ USB (ミニタイプ B) コネクタ	12	オーディオ出力コネクタ
2	HDMI コネクタ	13	電源コードコネクタ
3	VGA 出力 (モニターループスルー) コネクタ	14	マイクコネクタ
4	USB ビューア用 USB タイプ A コネクタ	15	オーディオ -B 右チャンネル入力コネクタ
5	USB ディスプレイ用 USB タイプ B コネクタ (DoUSB)	16	オーディオ -A 右チャンネル入力コネクタ
6	VGA-A 入力 (D サブ) コネクタ	17	コンポジットビデオコネクタ
7	RJ-45 コネクタ	18	オーディオ -B 入力コネクタ
8	オーディオ -A 入力コネクタ	19	VGA-B 入力 (D サブ) コネクタ
9	S ビデオコネクタ	20	RS232 コネクタ


---

10 オーディオ -A 左チャンネル入 21 レーザーカーテンコネクタ  
カコネクタ

---

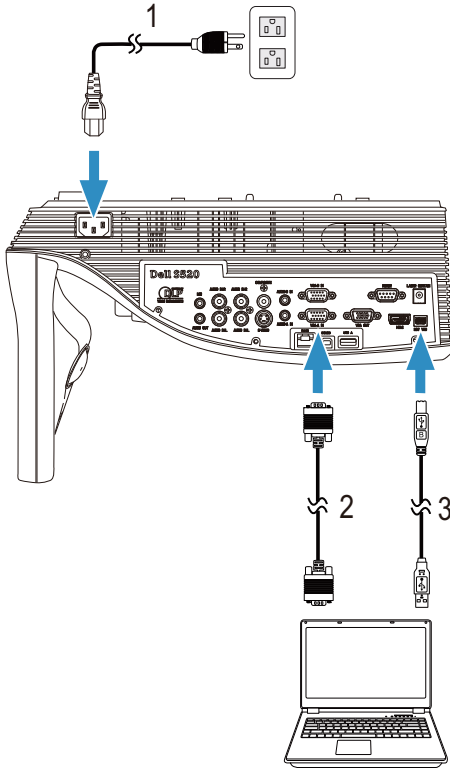
11 オーディオ -B 左チャンネル入  
カコネクタ

---

 **注意**：この章で説明する交換処理の前に、8 ページにある「安全上のご注意」をお読みください。

## コンピュータへの接続

### VGA ケーブルを使ったコンピュータの接続

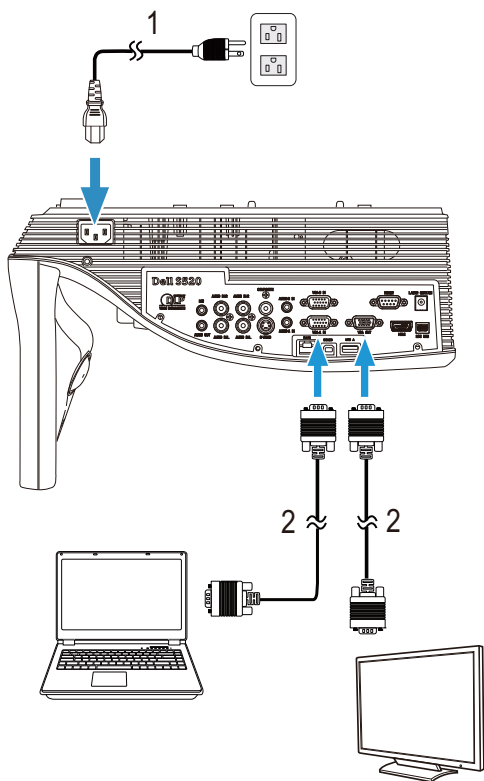


- 1 電源コード
- 2 VGA - VGA ケーブル
- 3 USB-A - ミニ USB-B ケーブル



**メモ：**リモコンで「Page Up」機能と「Page Down」機能を使用する場合は、ミニ USB ケーブルを接続する必要があります。

VGA ケーブルを使用してループする一接続をモニタしてください



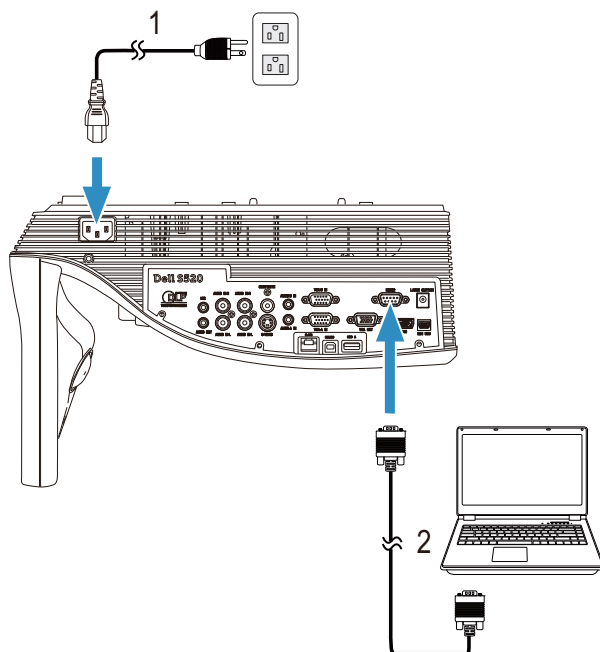
- 
- 1 電源コード
  - 2 VGA - VGA ケーブル
- 



**メモ:** プロジェクタには VGA ケーブル 1 本のみが付属しています。追加の VGA ケーブルは、Dell Web サイト ([www.dell.com](http://www.dell.com)) でご購入いただけます。



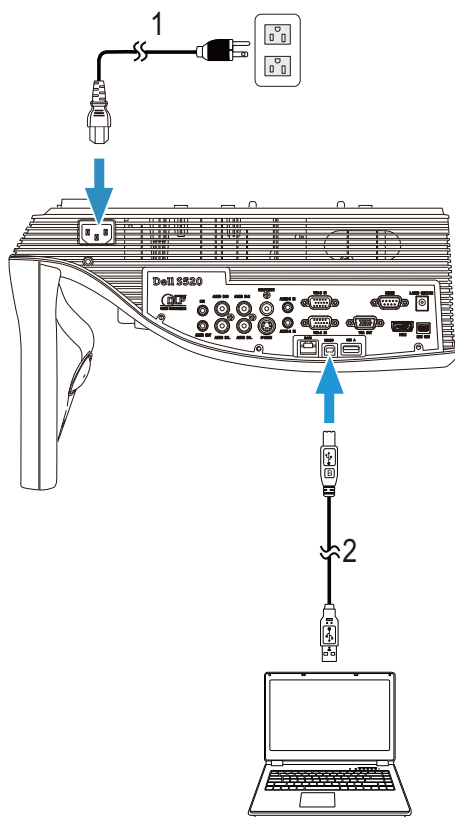
## RS232 ケーブルを使ったコンピュータの接続




- 
- 1 電源コード
  - 2 RS232 (9ピン D-sub メス - メスピ  
ン 2 ~ 3 スワップ) ケーブル
- 

**メモ** : RS232 (9ピン D-sub メス - メスピ  
ン 2 ~ 3 スワップ) ケーブルは、プロジェクタに付属していません。ケーブルと RS232 リモコン  
ソフトウェアについては専門のインストール業者までお問い合わせく  
ださい。

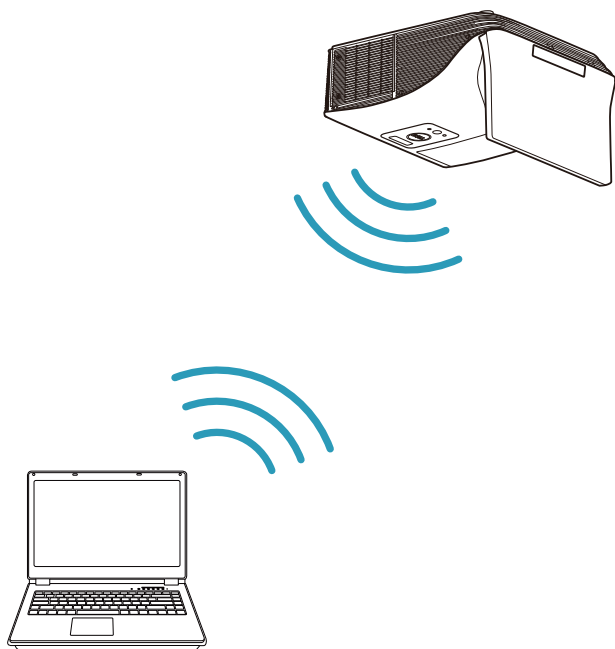
## USB ケーブルを使ったコンピュータの接続



- 
- |   |                    |
|---|--------------------|
| 1 | 電源コード              |
| 2 | USB-A - USB-B ケーブル |
- 

 **メモ**：プラグアンドプレイ。プロジェクタには USB ケーブル 1 本のみが付属しています。追加の USB ケーブルは、Dell Web サイト ([www.dell.com](http://www.dell.com)) でご購入いただけます。

## 無線または Intel® WiDi を使用してコンピュータを接続する



- **メモ**：別のワイヤレス接続を検出するには、お使いのコンピュータにワイヤレスコネクタを装備し適切に設定する必要があります。ワイヤレス接続の設定方法については、コンピュータのマニュアルを参照してください。
- **メモ**：Intel® WiDi を介してコンピュータを接続するには、お使いのコンピュータが Intel® WiDi 互換である必要があります。

## 無線を使ってスマートフォンまたはタブレットを接続する



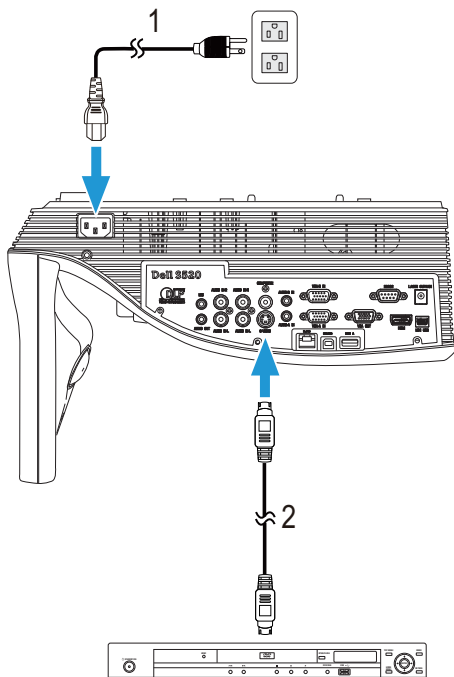
**メモ** : Dell S520 は、MobiShow 機能および WiFi-Doc 機能をサポートします。それらは、Android デバイスまたは iOS デバイスからワイヤレスでサポートされるコンテンツを伝送するアプリケーションです。お使いのモバイルデバイスにアプリケーションをインストールして起動した後で、Wi-Fi を有効化し、プロジェクタネットワーク (Dell S520) に接続します。詳細については、Dell サポートサイト ([dell.com/support](http://dell.com/support)) を参照してください。サポートされるファイルは次の通りです。

Mobi Show	写真	jpeg / jpg
	MS Powerpoint	PtG2 (ppt から変換) *
WiFi-Doc	写真	jpeg / jpg
	MS Powerpoint / Word / Excel / Text / PDF	ppt / pptx / doc / docx / xls / xlsx / txt / pdf

\* ppt を PtG2 形式に変換するには、PtG2 Converter を PC にインストールしてください。PtG2 Converter は [dell.com/support](http://dell.com/support) からダウンロードできます。


## DVD プレーヤーの接続

### S ビデオケーブルを使った DVD プレーヤーの接続

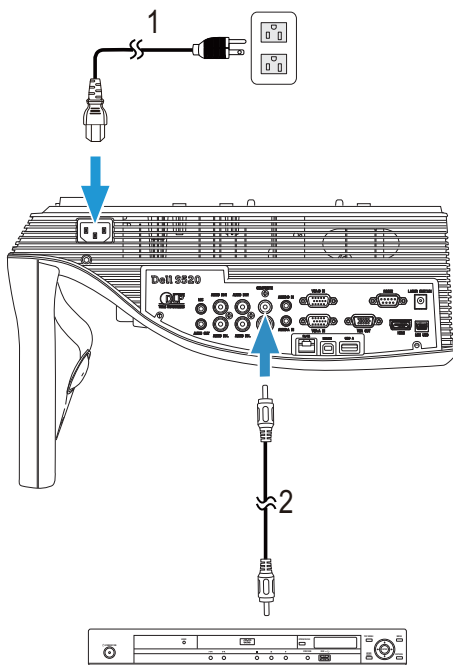


1 電源コード

2 S ビデオケーブル

 **メモ** : S ビデオケーブルは付属していません。Dell Web サイト ([www.dell.com](http://www.dell.com)) で S ビデオ延長 (15 m/30 m) ケーブルをお買い求めいただけます。

## コンポジットビデオケーブルを使った DVD プレーヤーの接続

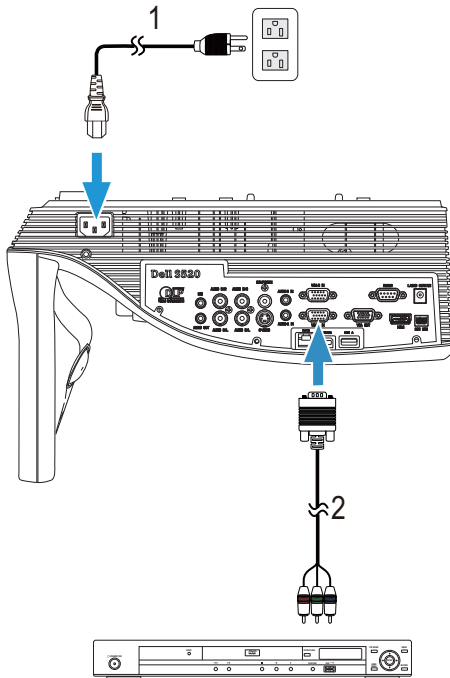


- 1 電源コード
- 2 コンポジットビデオケーブル




**メモ:** コンポジットビデオケーブルは付属していません。Dell Web サイト ([www.dell.com](http://www.dell.com)) でコンポジットビデオ延長 (15 m/30 m) ケーブルをお買い求めいただけます。

## コンポーネントビデオケーブルを使った DVD プレーヤーの接続

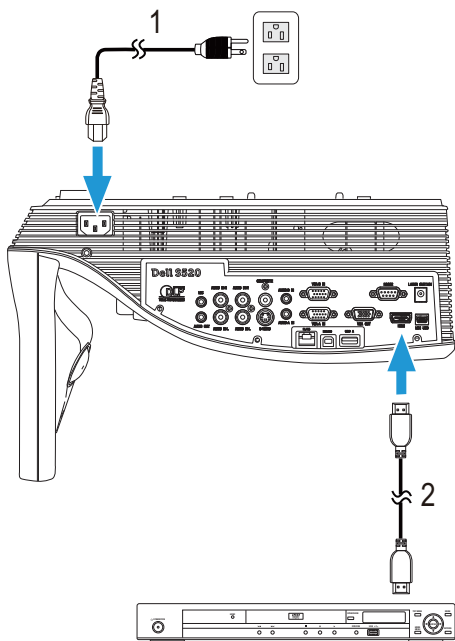


1 電源コード

2 VGA - コンポーネントビデオケーブル

 **メモ** : VGA - コンポーネントビデオケーブルは付属していません。  
Dell Web サイト ([www.dell.com](http://www.dell.com)) で VGA - コンポーネントビデオ延長  
(15 m/30 m) ケーブルをお買い求めいただけます。

## HDMI ケーブルを使った DVD プレーヤーの接続



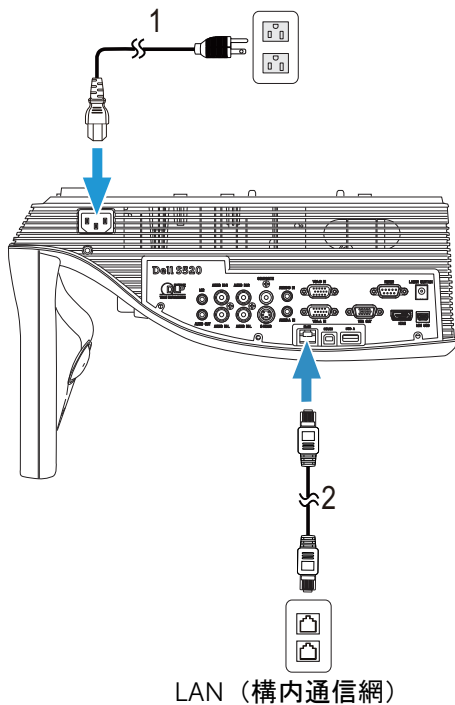
- 
- 1 電源コード
  - 2 HDMI ケーブル
- 

**メモ** : HDMI ケーブルは付属していません。Dell Web サイト ([www.dell.com](http://www.dell.com)) で HDMI ケーブルをご購入いただけます。



## LAN（構内通信網）への接続

画像を投射し、RJ45 ケーブルを通してネットワークに接続されたプロジェクタを制御します。




---

1 電源コード

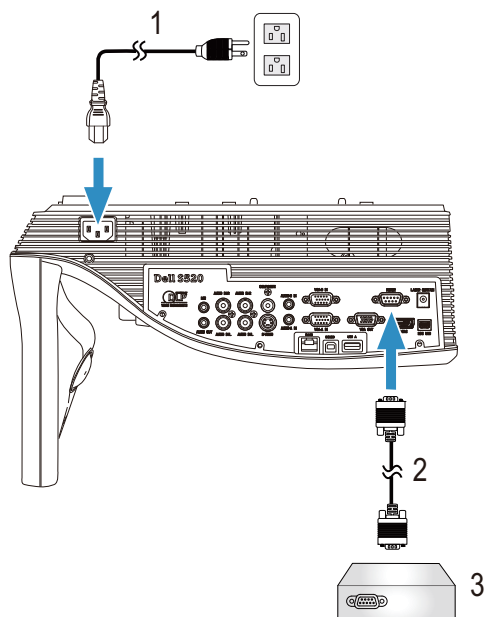
---

2 RJ45 ケーブル

---

 **メモ**：RJ45 ケーブルは付属していません。Dell Web サイト ([www.dell.com](http://www.dell.com)) で RJ45 ケーブルをご購入いただけます。

## 商用 RS232 コントロールボックスの接続

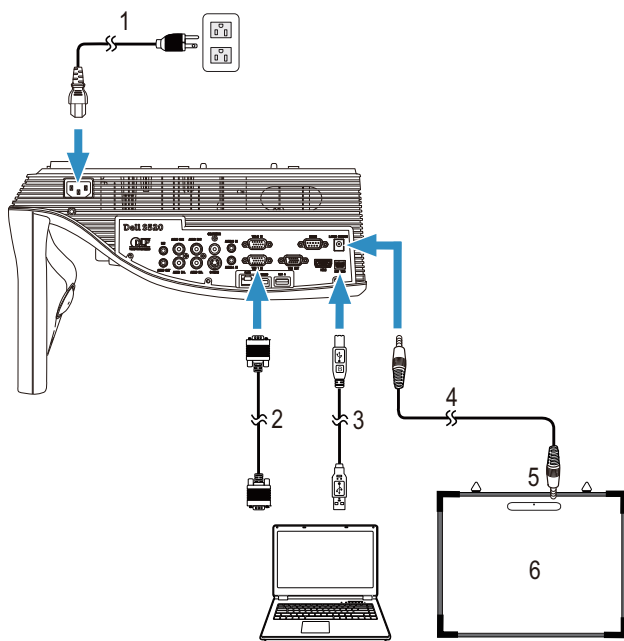


- 1 電源コード
- 2 RS232 (9ピン D-sub メス - メスピン 2～3 スワップ) ケーブル
- 3 商用 RS232 コントロールボックス



**メモ**：RS232 (9ピン D-sub メス - メスピン 2～3 スワップ) ケーブルは、プロジェクトに付属していません。ケーブルの入手については、専門技術者にお問い合わせください。

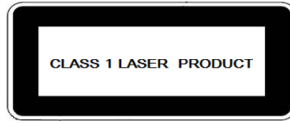
## 双方向性のためのレーザーカーテンを使用して接続する



- |   |                       |
|---|-----------------------|
| 1 | 電源コード                 |
| 2 | VGA - VGA ケーブル        |
| 3 | USB-A - ミニ USB-B ケーブル |
| 4 | DC - DC ケーブル          |
| 5 | レーザーカーテン              |
| 6 | ホワイトボード               |

### メモ：

- 1 レザーカーテンには、ホワイトボードが付属しています。
- 2 レザーカーテンは、投影画面の上端より 2 cm 以上高く設置する必要があります。
- 3 ホワイトボードの平坦性は、2 mm 以下でなければなりません。
- 4 VGA および HDMI ケーブルのいずれかを、コンピュータとプロジェクタに接続することができます。



2007年6月24日付けレーザー通告第50号に基づき  
偏差を除き 21 CFR1040.10 および 1040.11 に準拠しています。  
IEC 60825-1:2007

**△ 注意：**


レーザーの注意事項

- 本製品は、IEC60825-1:2007 に準拠するクラス1レーザー装置です。
- 本製品には、レーザーモジュールが内蔵されています。分解または改造は非常に危険であり、試みてはいけません。
- 特にユーザーガイドで指示されていない操作または調整は、危険なレーザー放射の被ばくのリスクを生じます。

# 3


## プロジェクタの使用方法

### プロジェクタの電源を入れる


 **メモ:** プロジェクタの電源をオンにしてから、ソース（コンピュータ、DVD プレーヤーなど）の電源をオンにしてください。電源ボタンを押すまで、ボタンは白色で点滅します。

- 1 電源コードと適切な信号ケーブルをプロジェクタに接続します。プロジェクタの接続については、9 ページの「プロジェクタの接続」を参照してください。
- 2 電源ボタンを押します（電源ボタンの位置については、29 ページの「リモコンの使用方法」を参照してください）。
- 3 ソース（コンピュータ、DVD プレーヤーなど）の電源を入れます。
- 4 適切なケーブルを使用して、プロジェクタにソースを接続します。プロジェクタにソースを接続する方法については、9 ページの「プロジェクタの接続」を参照してください。
- 5 デフォルトで、入力ソースは VGA-A に設定されています。必要に応じて、プロジェクタの入力ソースを変更してください。
- 6 プロジェクタに複数のソースが接続されている場合は、リモコンの **Source** ボタンを押して、希望するソースを選択します。**Source** ボタンを確認するには、29 ページの「リモコンの使用方法」を参照してください。


### プロジェクタの電源を切る

 **注意:** プロジェクタの接続を外す前に、次に説明する手順に従って正しくシャットダウンします。

- 1 電源ボタンを押します。プロジェクタを適切にオフにするには、スクリーンに表示される指示に従ってください。

 **メモ:** 「電源ボタンを押してプロジェクタの電源をオフにします。」メッセージが画面に表示されます。メッセージは 5 秒後に消えるのを待つか、メニューボタンを押してメッセージを消去します。

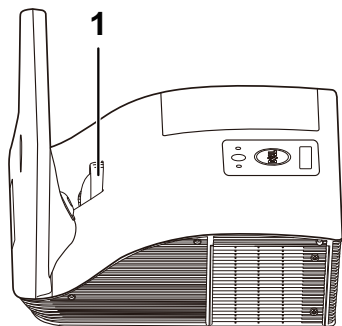
- 2 電源ボタンをもう一度押します。冷却ファンが 120 秒間作動します。
- 3 時間を掛けずにプロジェクタの電源を切るには、プロジェクタの冷却ファンが作動中に電源ボタンを 1 秒間押し続けます。

 **メモ:** プロジェクタの電源をもう一度入れる場合は、内部温度が安定するまで 60 秒待ちます。

4 コンセントとプロジェクタから電源ケーブルの接続を外します。

## プロジェクタのフォーカス調整

1 画像が鮮明になるまでフォーカスリングを回します。プロジェクタで焦点が合う距離は 0.597 m ~ 0.731 m です。



1	フォーカスリング
---	----------

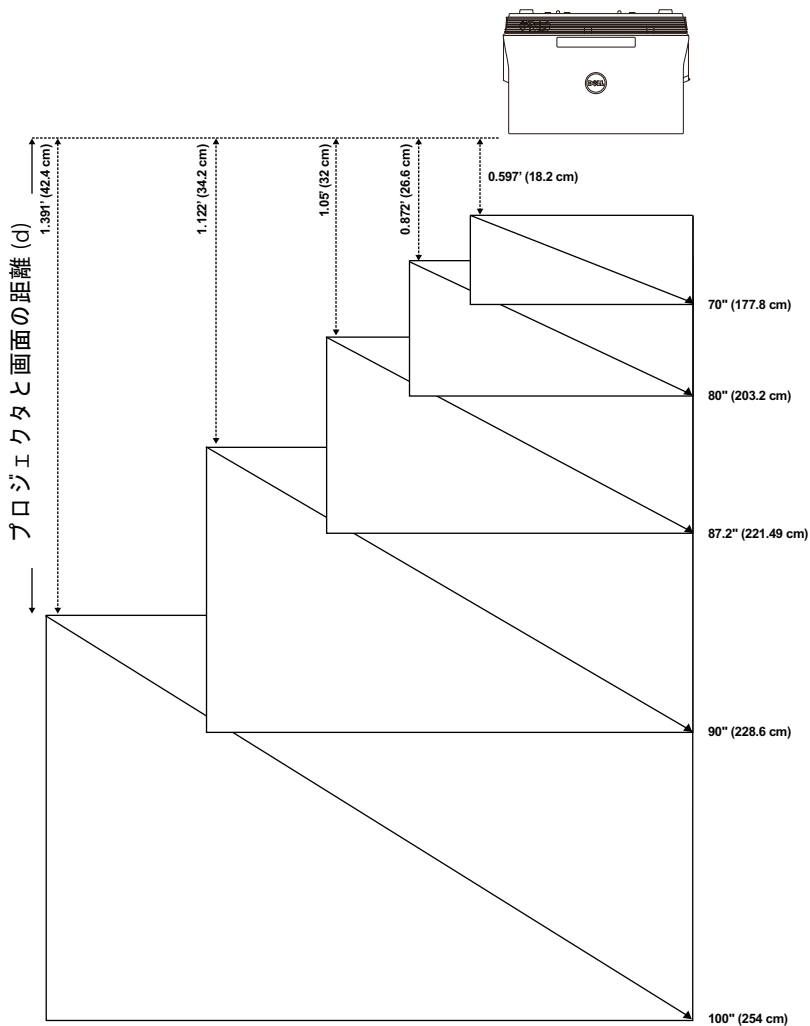
## プロジェクタのミラーのクリーニング

- 1 プロジェクタの電源を切り、電源コードの接続を外します。
- 2 プロジェクタを少なくとも 30 分間そのままにして冷却します。
- 3 送風機のパルプを使用してミラーのほこりを吹き飛ばすか、マイクロファイバー洗浄クロスを使用してミラーをそっと拭きます。ミラーの表面をごしごしこすらないでください。ミラーに傷が付く恐れがあります。

**△ 注意：**プロジェクタに直接クリーナーや溶剤をスプレーしないでください。

**⚠ 警告：**壁掛け式のプロジェクタをクリーニングすると、落ちて負傷する結果をもたらす原因となります。壁掛けブラケットからプロジェクタを取り外し、プロジェクタのミラーを洗浄することができます。

## 投影画像サイズの調整

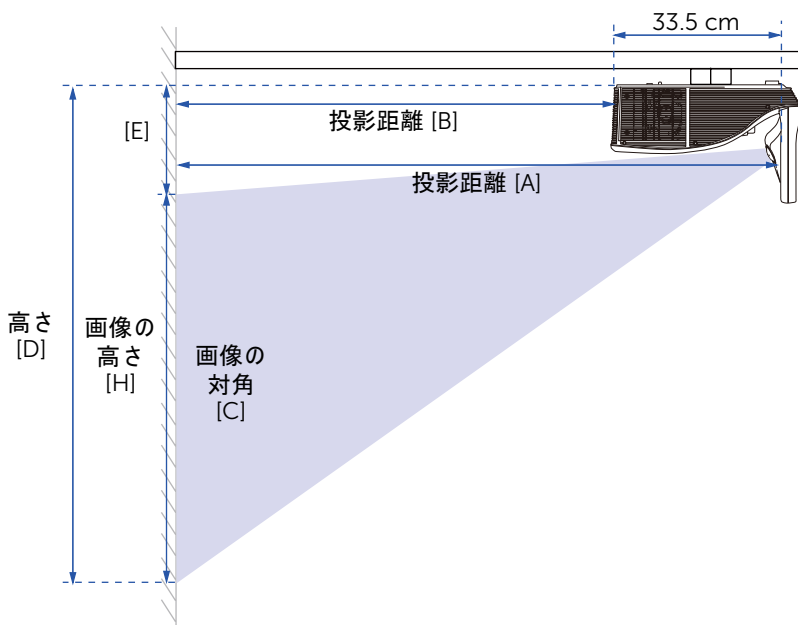


投影距離 (cm) [A]	投影距離 (cm) [B]	画像サイズ			プロジェクタ のベースから 画像の上部ま で (cm) [D]	プロジェクタ のベースから 画像の下部ま で (cm) [E]
		対角 (インチ /cm) [C]	幅 (cm)	高さ (cm) [H]		
51.7	18.2	70"/ 177.8 cm	148	92	120	28
60.1	26.6	80"/ 203.2 cm	172	107	139	32
65.5	32	87.2"/ 221.4 cm	187	117	151	34
67.7	34.2	90"/ 228.6 cm	193	121	156	35
75.9	42.4	100"/ 254 cm	217	136	175	39

\* この表はユーザーの参照用です。

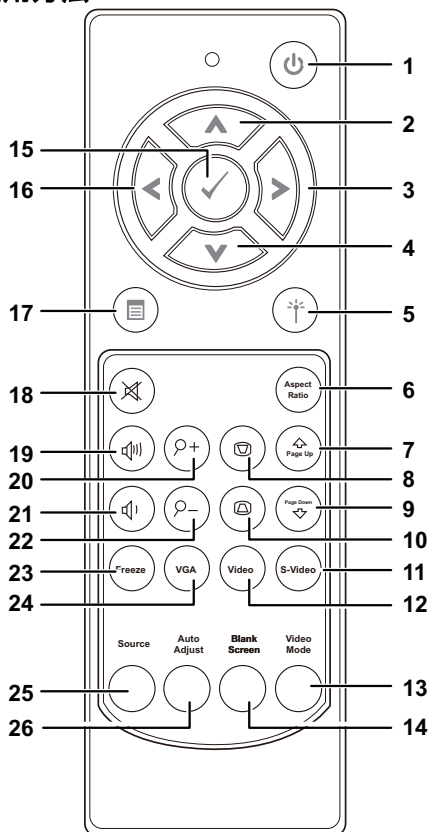
\* オフセット比 : 125±5%




**メモ** : ミラーからプロジェクタ背面までの距離 : 33.5 cm



























## リモコンの使用法




- |   |  |  |
|---|--|--|
| 1 | 電源  | プロジェクタの電源のオン／オフを切り替えます。詳しくは、25ページの「プロジェクタの電源を入れる」および25ページの「プロジェクタの電源を切る」を参照してください。 |
| 2 | 上   | このボタンを押して、オンスクリーンディスプレイ (OSD) メニュー項目をナビゲートします。                                     |
| 3 | 右   | このボタンを押して、オンスクリーンディスプレイ (OSD) メニュー項目をナビゲートします。                                     |

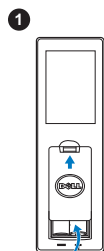
4	ダウン 	このボタンを押して、オンスクリーンディスプレイ (OSD) メニュー項目をナビゲートします。
5	レーザー 	リモコンを画面に向け、レーザーボタンを押し続けてレーザーライトを起動します。  <b>注意:</b> レーザーがオンになっている間、レーザーポイントをのぞき込まないでください。レーザー光線を自分の目に向けしないでください。
6	Aspect Ratio 	このボタンを押して、表示された画像の縦横比を変更します。
7	Page up 	このボタンを押して前のページへ移動します。  <b>メモ:</b> ページ上機能を使用する場合、ミニ USB ケーブルを接続する必要があります。
8	キーストーン調整 + 	ボタンを押して、プロジェクタの傾きによって起こるゆがみを調整します (-20/+20 度)。
9	Page down 	このボタンを押して次のページへ移動します。  <b>メモ:</b> ページ下機能を使用する場合、ミニ USB ケーブルを接続する必要があります。
10	キーストーン調整 - 	ボタンを押して、プロジェクタの傾きによって起こるゆがみを調整します (-20/+20 度)。
11	S-Video 	このボタンを押して S ビデオソースを選択します。
12	Video 	このボタンを押してコンポジットビデオソースを選択します。
13	Video mode	プロジェクタには、データ (プレゼンテーションスライド) やビデオ (映画、ゲームなど) の表示に最適なプリセット設定があります。 Video Mode ボタンを押して、プレゼンテーションモード、明るさモード、映画モード、sRGB、またはカスタムモードを切り替えます。 Video Mode ボタンを 1 回押すと、現在の表示モードが表示されます。もう一度 Video Mode ボタンを押すと、モードが切り替わります。

14	Blank screen	このボタンを押して、画像を表示したり非表示にします。
15	入力 	このボタンを押して選択を確定します。
16	左 	このボタンを押して、オンスクリーンディスプレイ (OSD) メニュー項目をナビゲートします。
17	メニュー 	このボタンを押して OSD を起動します。
18	消音 	このボタンを押して、プロジェクタのスピーカーを消音にしたり消音を解除します。
19	音量アップ 	このボタンを押して音量を上げます。
20	ズーム + 	このボタンを押して画像を上げます。
21	音量ダウン 	このボタンを押して音量を下げます。
22	ズーム - 	このボタンを押して画像を下げます。
23	Freeze 	このボタンを押してスクリーンの画像を一時停止します。「Freeze」をもう一度押すと再生に戻ります。
24	VGA 	このボタンを押して VGA ソースを選択します。
25	Source	押して、VGA-A、VGA-B、コンポジット、S ビデオ、HDMI、ワイヤレスディスプレイ、USB ディスプレイ、USB ビューア、Intel® WiDi、および内部メモリソース間を切り替えます。
26	Auto Adjust	このボタンを押して、プロジェクタと入力ソースを同期化します。OSD が表示されている場合は、自動調整は動作しません。

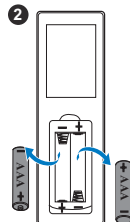
## リモートコントロールバッテリーの取り付け

 **メモ**：使用していないときは、リモコンからバッテリーを取り外してください。

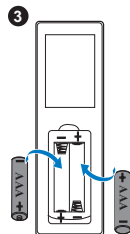
1 タブを押してバッテリー収納部のカバーを持ち上げます。




2 バッテリーの極性 (+/-) のマークをチェックします。

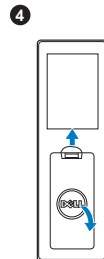


3 バッテリー収納部のマークに従って極性が合うように、バッテリーを挿入します。



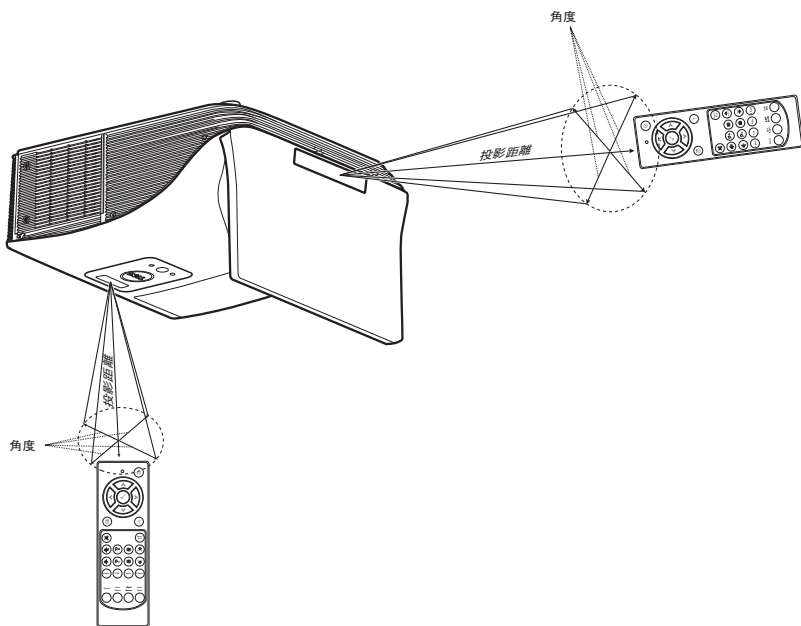
 **メモ**：異なる種類のバッテリーを混合したり、新しいものと古いものを一緒に使用することを避けてください。

4 バッテリーカバーを元に戻します。












## リモコンの動作範囲

動作範囲	
角度	±40°
投影距離	7 m



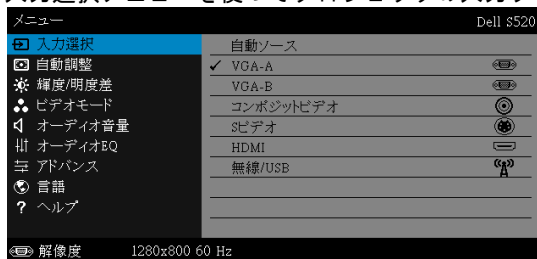
**メモ**：実際の動作範囲は、図とわずかに異なることがあります。  
バッテリー残量が少ない場合も、リモコンでプロジェクタを適切に操作できない原因となります。

## オンスクリーンディスプレイの使用法

- プロジェクタには多言語のオンスクリーンディスプレイ（OSD）メニューがあり、入力ソースの有無に関わらず表示されます。
- リモコンのメニューボタンを押して、メインメニューに移動します。
- メインメニューのタブの間を移動するには、リモコンの  ボタンまたは  ボタンを押します。
- サブメニューを選択するには、リモコンの  ボタンまたは  ボタンを押します。
- オプションを選択するには、リモコンの  ボタンまたは  ボタンを押します。項目を選択すると、色が濃い青色になります。
- リモコンの  または  ボタンを使って設定を調整します。
- メインメニューに戻るには、リモコンの  ボタンを押します。
- OSD を終了するには、直接、リモコンのメニューボタンを押します。


## 入力選択

入力選択メニューを使ってプロジェクタの入力ソースを選択します。



**VGA-A**— を押して VGA-A 信号を検出します。

**VGA-B**— を押して VGA-B 信号を検出します。

**コンポジットビデオ**— を押してコンポジットビデオ信号を検出します。

**S ビデオ**— を押して S ビデオ信号を検出します。

**HDMI**— を押して HDMI 信号を検出します。

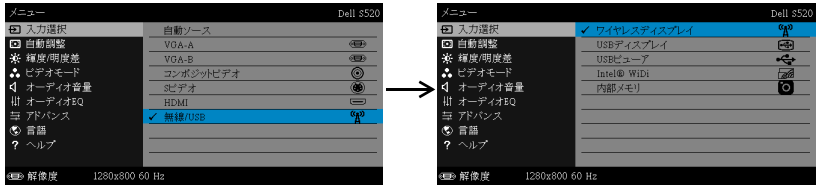
**無線 /USB**— を押して選択の無線 /USB メニューを起動します。



**メモ：**「ワイヤレスと LAN」オプションをオンにすると、無線 /USB を使用できるようになります。


## 入力選択の無線 /USB

入力選択の無線 /USB メニューにより、ワイヤレスディスプレイ、USB ディスプレイ、USB ビューア、Intel® WiDi、内部メモリを有効にできます。



**ワイヤレスディスプレイ**—を押してプロジェクタのワイヤレスガイド画面にアクセスします。69 ページの「ワイヤレスガイド画面」を参照してください。


**USB ディスプレイ**—USB ケーブル経由で、プロジェクタにデスクトップ / ノート PC スクリーンを表示します。

 **メモ** : DoUSB が表示されない場合は、107 ページの「プロジェクタのトラブルシューティング」を参照してください。

**USB ビューア**—USB フラッシュディスクから写真、音楽、ビデオ、MS Word、Excel、Powerpoint および PDF ファイルを再生できます。

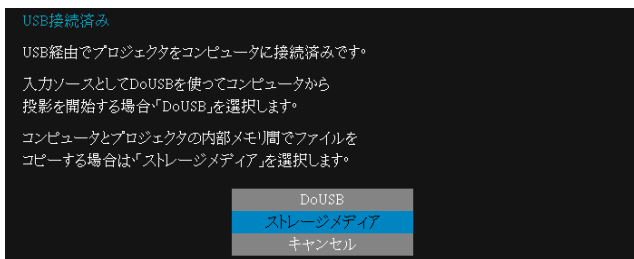
**INTEL® WIDI**—を押してプロジェクタの Intel® WiDi ガイド画面にアクセスします。

**内部メモリ**—プロジェクタの内部メモリから写真、音楽、ビデオ、MS Word、Excel、Powerpoint および PDF ファイルを再生できます。

 **メモ** :

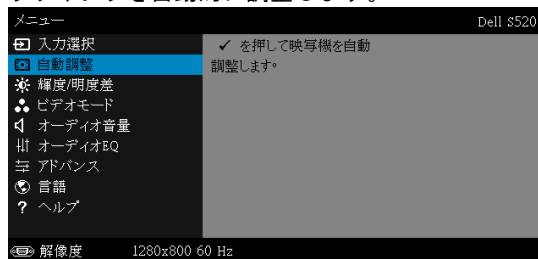
**ストレージメディア**—また、USB ケーブルを内部メモリソースに接続して、コンピュータから内部メモリおよび SD カードに対してコピー、削除、移動などの操作を行うことができます。

USB ケーブル経由でプロジェクタとコンピュータを接続すると、「USB 接続済み」というメッセージが表示され、DoUSB またはストレージメディアから選択することができます。



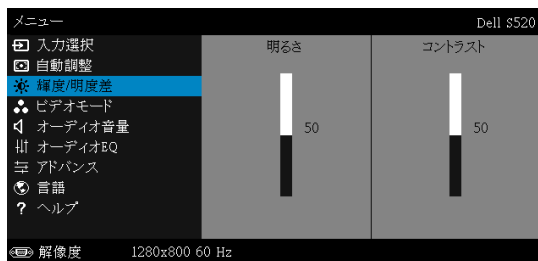
## 自動調整


自動調整を使って、PC モードでプロジェクタの水平、垂直、周波数、トラッキングを自動的に調整します。



## 輝度 / 明度差


輝度 / 明度差メニューにより、プロジェクタの輝度 / 明度差設定を調整できます。



明るさ —  や  を使って画像の明るさを調整します。

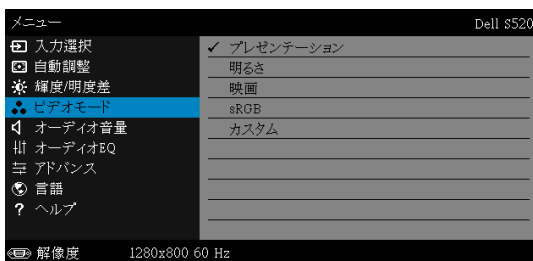


コントラスト —  や  を使ってディスプレイのコントラストを調整します。

 **メモ**：明るさおよびコントラストの設定を調整すると、プロジェクタは自動的にカスタムモードに切り替わります。

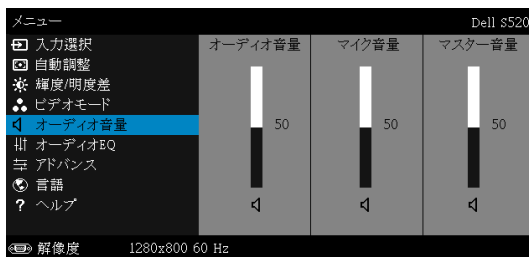
## ビデオモード

ビデオモードメニューでは、ディスプレイ画像を最適化します：**プレゼンテーション**、**明るさ**、**映画**、**sRGB**（より精密な色を提供します）、および**カスタム**（お好みの色を設定します）。



## オーディオ音量

オーディオ音量メニューを使って、プロジェクタのオーディオ、マイク、マスター音量設定を調整します。



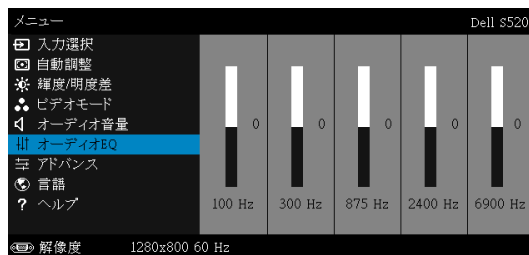
**オーディオ音量** —  を押してオーディオ音量を上げ、 を押してオーディオ音量を下げます。

**マイク音量** —  を押してマイク音量を上げ、 を押してマイク音量を下げます。

**マスター音量** —  を押してオーディオおよびマイク音量を上げ、 を押してオーディオおよびマイク音量を下げます。

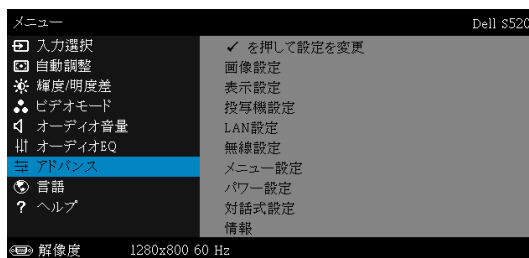
## オーディオ EQ

オーディオ EQ メニューを使って、オーディオを調整したり、信号の異なる周波数レベルを増幅または減少（減衰）させることができます。

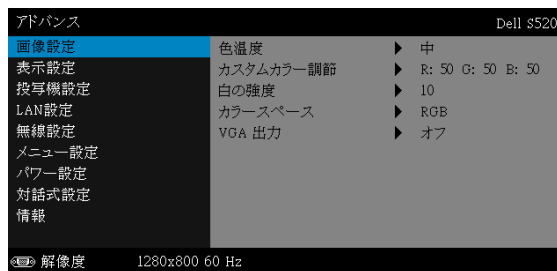


## アドバンス

アドバンスメニューは**画像**、**表示**、**投写機**、**LAN**、**無線**、**メニュー**、**パワー**、**対話式**および**情報**の設定を変更します。



**画像設定 (PC モード)** —  を選択して押し、画面設定を起動します。画像設定メニューには次のオプションがあります。




**色温度**—色温度を調整します。画面は、色温度が高いと寒色になり、色温度が低いと暖色になります。**色調整**メニューで値を調整すると、カスタムモードが起動します。値はカスタムモードで保存されます。

**カスタムカラー調節**—赤、緑、青の色を手動で調整します。

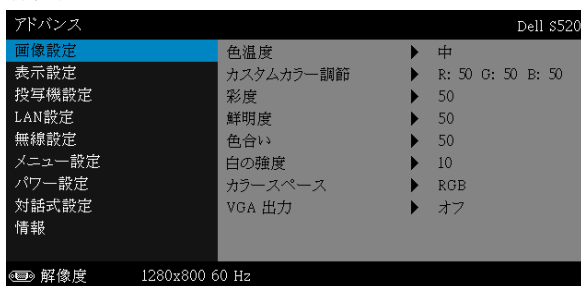
**白の強度** —  を押し、 と  を使用して白の強度を表示します。

**カラースペース** — 色空間を選択します。オプション：RGB、YCbCr、および YPbPr があります。

**VGA 出力** — オンまたはオフを選択すると、VGA 出力はプロジェクタのスタンバイステータスで機能します。初期設定はオフです。

 **メモ**：色温度、カスタムカラー調節および白の強度の設定を調整すると、プロジェクタは自動的にカスタムモードに切り替わります。

**画像設定（ビデオモード）** —  を選択して押し、画面設定を起動します。画像設定メニューには次のオプションがあります。



**色温度** — 色温度を調整します。画面は、色温度が高いと寒色になり、色温度が低いと暖色になります。色調整メニューで値を調整すると、カスタムモードが起動します。値はカスタムモードで保存されます。

**カスタムカラー調節** — 赤、緑、青の色を手動で調整します。

**彩度** — ビデオソースを白黒から彩度のあるフルカラーに調整します。 を押しして画像の色の量を増やし、 を押しして画像の色の量を減らします。

**鮮明度** —  を押しして鮮明度を上げ、 を押しして鮮明度を下げます。

**色合い** —  を押しして画像の緑の量を増やし、 を押しして画像の緑の量を減らします。

**白の強度** —  を押し、 と  を使用して白の強度を表示します。

**カラースペース** — 色空間を選択します。オプション：RGB、YCbCr、および YPbPr があります。

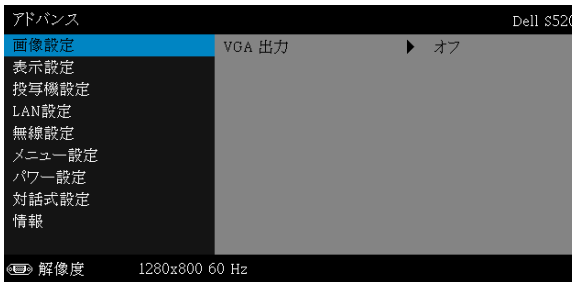
**VGA 出力** — オンまたはオフを選択すると、VGA 出力はプロジェクタのスタンバイステータスで機能します。初期設定はオフです。



## メモ：

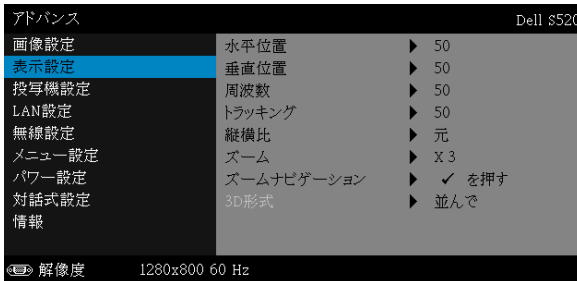
- 1 色温度、カスタムカラー調節、彩度、鮮明度、色合いおよび白の強度の設定を調整すると、プロジェクタは自動的にカスタムモードに切り替わります。
- 2 彩度、鮮明度と色合いは、入力ソースがコンポジットやSビデオから出ている場合のみ使用可能です。

**画像設定（入力ソースなし）**  を選択して押し、画面設定を起動します。画像設定メニューには次のオプションがあります。



**VGA出力** オンまたはオフを選択すると、VGA出力はプロジェクタのスタンバイステータスで機能します。初期設定はオフです。

**表示設定（PCモードで）**  を選択して押し、表示設定を起動します。表示設定メニューには次のオプションがあります。



**水平位置**  を押して画像を右へ移動し、 を押して画像を左へ移動します。

**垂直位置**  を押して画像を上へ移動し、 を押して画像を下へ移動します。

**周波数** ディスプレイのデータクロック周波数を変更し、コンピュータのグラフィックスカードの周波数と合わせます。縦線がちらつく場合は、周波数コントロールを使って縦線を最小限に抑えます。これは粗調整です。

トラッキング ディスプレイ信号の位相をグラフィックスカードと同期化します。画像が不安定だったり、ちらつく場合は、トラッキングを使って修正します。これは微調整です。

**縦横比**—縦横比を選択して画像の表示方法を調整します。オプション：元、16:10 および 4:3。

•元—元を選択して入力ソースに従って画像プロジェクタの縦横比を維持します。

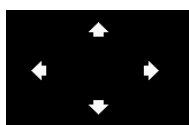
•16:10—入力ソースを調整して画面の幅に合わせ、16:10 スクリーン画像を投影します。

•4:3—入力ソースを調整して画面に合わせ、4:3 画像を投影します。

**ズーム**—とを押して、画像をズームし表示します。



または  を押して画像の倍率を調整し、 を押してリモコンでのみ表示します。



**ズームナビゲーション**— を押してズームナビゲーションメニューを起動します。

を使用してプロジェクション画面をナビゲートします。

**3D 形式**—3D 形式を選択します。オプション：並んで、並んでフル、フレーム順次、フィールド順次、トップ/ボトムとトップ/ボトムフル。

**3D 同期反転**—DLP 3D メガネをかけている間、離散的画像または重なり画像が見える場合、「反転」を実行して左右画像シーケンスのベストマッチを得て正しい画像が見えるようにします。(DLP 3D メガネの場合)

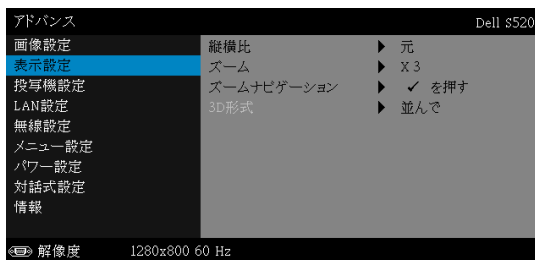


#### メモ：

- 3D を体験したいとき、以下の機器が必要になります：
  - DLP Link™ を装備した「アクティブな」3D メガネ。
  - 3D コンテンツ。「注2」を参照してください。
  - 3D プレーヤー。
- HDMI 1.4a 3Dサポートとリフレッシュレートは以下の通りです：
  - 1280 x 720p @ 50 Hz フレームパッキング
  - 1280 x 720p @ 59.94/60 Hz フレームパッキング
  - 1920 x 1080p @ 23.98/24 Hz フレームパッキング

- d 1920 x 1080i @ 50 Hz サイドバイサイドハーフ
- e 1920 x 1080i @ 59.94/60 Hz サイドバイサイドハーフ
- f 1280 x 720p @ 50 Hz トップアンドボトム
- g 1280 x 720p @ 59.94/60 Hz トップアンドボトム
- h 1920 x 1080p @ 23.98/24 Hz トップアンドボトム

**表示設定（ビデオモード）** —  を選択して押し、表示設定を起動します。表示設定メニューには次のオプションがあります。



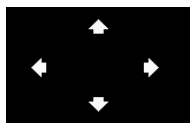
**縦横比** — 縦横比を選択して画像の表示方法を調整します。オプション：元、16:10 および 4:3。

- 元 — 元を選択して入力ソースに従って画像プロジェクタの縦横比を維持します。
- 16:10 — 入力ソースを調整して画面の幅に合わせ、16:10 スクリーン画像を投影します。
- 4:3 — 入力ソースを調整して画面の幅に合わせ、4:3 スクリーン画像を投影します。

**ズーム** —  と  を押して、画像をズームし表示します。



または  を押して画像の倍率を調整し、 を押してリモコンでのみ表示します。



**ズームナビゲーション** —  を押してズームナビゲーションメニューを起動します。

を使用してプロジェクション画面をナビゲートします。


**3D 形式** — 3D 形式を選択します。オプション：並んで、並んでフル、フレーム順次、フィールド順次、トップ／ボトムとトップ／ボトムフル。

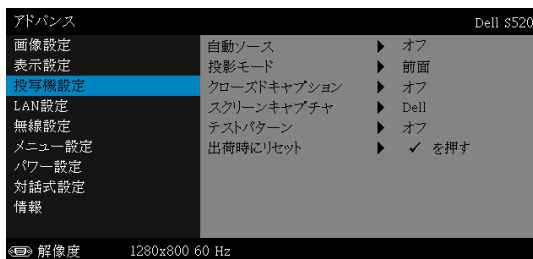
**3D 同期反転**—DLP 3D メガネをかけている間、離散的画像または重なり画像が見える場合、「反転」を実行して左右画像シーケンスのベストマッチを得て正しい画像が見えるようにします。(DLP 3D メガネの場合)



### メモ：

- 3D を体験したいとき、以下の機器が必要になります：
  - DLP Link™ を装備した「アクティブな」3D メガネ。
  - 3D コンテンツ。「注2」を参照してください。
  - 3D プレーヤー。
- HDMI 1.4a 3D サポートとリフレッシュレートは以下の通りです：
  - 1280 x 720p @ 50 Hz フレームパッキング
  - 1280 x 720p @ 59.94/60 Hz フレームパッキング
  - 1920 x 1080p @ 23.98/24 Hz フレームパッキング
  - 1920 x 1080i @ 50 Hz サイドバイサイド HALF
  - 1920 x 1080i @ 59.94/60 Hz サイドバイサイド HALF
  - 1280 x 720p @ 50 Hz トップアンドボトム
  - 1280 x 720p @ 59.94/60 Hz トップアンドボトム
  - 1920 x 1080p @ 23.98/24 Hz トップアンドボトム

**投写機設定**  を選択して押して、プロジェクタ設定を起動します。プロジェクタ設定メニューには次のオプションがあります。




**自動ソース**—オフ（デフォルト）を選択して、現在の入力信号をロックします。自動ソースモードをオフに設定した状態で Source ボタンを押すと、入力信号を手動で選択できます。オンを選択すると、使用可能な入力信号を自動検出します。プロジェクタの電源が入った状態で Source ボタンを押すと、次の使用可能な入力信号を自動検出します。

**投影モード**—プロジェクタの取り付け方法によって投影モードを選択できます。

• リアプロジェクションシー壁掛け（ウォールマウント）－ プロジェクタは画像を反転表示し、上下逆にします。壁掛けで透過スクリーンの裏面から投影できます（正規の投影）。

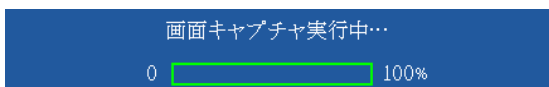
• フロントプロジェクションシー壁掛け（ウォールマウント）－ 壁掛けで投影する場合に、プロジェクタが画像を上下逆にします。


**クローズドキャプション**－オンを選択してクローズドキャプションを有効にし、クローズドキャプションメニューを起動します。適切なクローズドキャプションオプションの選択：CC1、CC2、CC3、CC4を選択します。

 **メモ：**

- 1 クローズドキャプションのオプションは、NTSC でのみ使用できます。
- 2 クローズドキャプションは、S ビデオおよびコンポジットビデオ入力を介してのみ有効にすることができます。

**スクリーンキャプチャ**デフォルトは壁紙としての Dell ロゴです。スクリーンキャプチャオプションを選択してスクリーンディスプレイをキャプチャすることもできます。次のメッセージがスクリーンに表示されます。



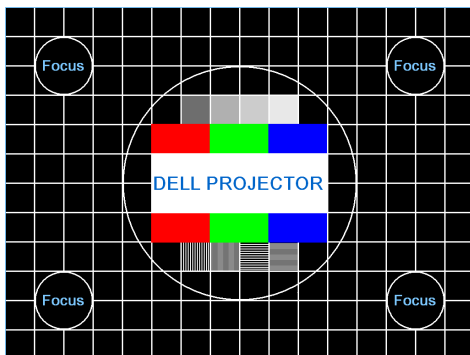
 **メモ：**フル画像にするには、プロジェクタに接続している入力信号が 1280 x 800 解像度であることを確認します。

**テストパターン**－テストパターンは、フォーカスと解像度をテストするために使用されます。

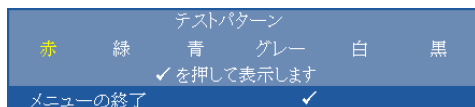


オフ、1、または2を選択してテストパターンの有効/無効を切り替えることができます。

テストパターン 1:



テストパターン 2:

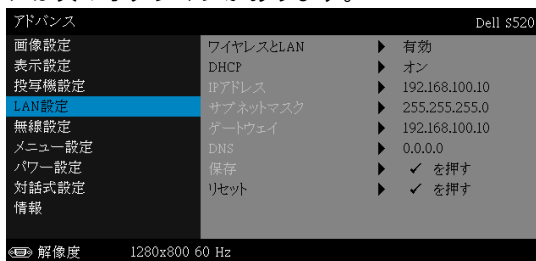


出荷時にリセット—確認を選択して  を押すと、すべての設定が工場出荷時デフォルト値にリセットされます。以下の警告メッセージが表示されます。

出荷時にリセットしています

コンピュータソースやビデオソース設定もリセットされます。

LAN 設定— を選択して押して、LAN 設定を起動します。LAN 設定メニューには次のオプションがあります。



**ワイヤレスと LAN—有効**を選択すると、ワイヤレスと LAN 機能が起動します。

**DHCP—プロジェクトが接続されるネットワークに DHCP サーバーが存在する場合、IP アドレスは DHCP オンを選択するとき自動的に取得されます。DHCP がオフの場合、IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイを手動で設定します。**とを使用して IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイの番号を選択します。エンターを入力して各番号を確認し、とを使用して次の項目を設定します。

**IP アドレス**—IP アドレスをネットワークに接続されたプロジェクトに自動または手動で割り当てます。

**サブネットマスク**—ネットワーク接続のサブネットマスクを設定します。

**ゲートウェイ**—ゲートウェイを手動で設定する場合、ゲートウェイアドレスをネットワーク/システム管理者でチェックします。

**DNS**—DNS を手動で設定する場合、DNS サーバー IP アドレスをネットワーク/システム管理者でチェックします。

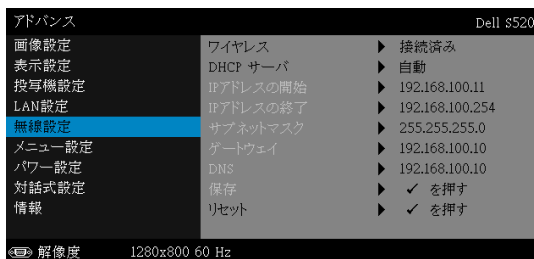
**保存**—を押して、ネットワーク設定で行った変更を保存します。

#### **メモ：**

- とボタンを押して IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイ、DNS、保存を選択します。
- ボタンを押して IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイまたは DNS を入力して値を設定します。(選択したオプションは青色でハイライトされます)
  - とボタンを使ってオプションを選択します。
  - とボタンを使って値を設定します。
  - セットアップが完了したら、ボタンを押して終了します。
- IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイ、DNS をセットアップした後、保存**を選択しボタンを押して設定を保存します。
- 入力**ボタンを押さずに**保存**を選択すると、元の設定が維持されます。

**リセット**—を押して、ネットワーク設定をリセットします。

**無線設定**  を選択して押し、ワイヤレス設定を起動します。ワイヤレス設定メニューには次のオプションがあります。



ワイヤレスプロジェクトの無線機能が有効になっている場合、このオプションは、接続として画面に表示されます。

**DHCP サーバー**—ワイヤレスの DHCP サーバーを有効にすることができます。

**IP アドレスの開始**—DHCP サーバーの開始 IP アドレスをワイヤレスに接続されたプロジェクトに自動または手動で割り当てることができます。

**IP アドレスの終了**—DHCP サーバーの終了 IP アドレスをワイヤレスに接続されたプロジェクトに自動または手動で割り当てることができます。

**サブネットマスク**—ワイヤレス接続のサブネットマスクを設定します。

**ゲートウェイ**—ゲートウェイを手動で設定する場合、ゲートウェイアドレスをネットワーク/システム管理者でチェックします。

**DNS**—DNS を手動で設定する場合、DNS サーバー IP アドレスをネットワーク/システム管理者でチェックします。

**保存**  を押して、ワイヤレス設定で行った変更を保存します。

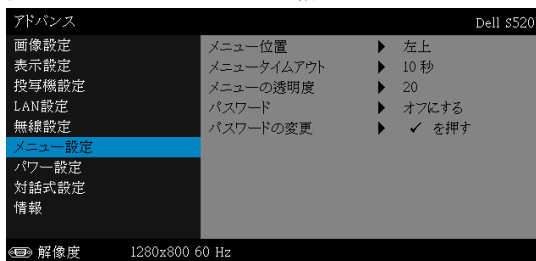
#### **メモ:**

- と  ボタンを押して IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイ、DNS、保存を選択します。
- ボタンを押して IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイまたは DNS を入力して値を設定します。(選択したオプションは青色でハイライトされます)
  - と  ボタンを使ってオプションを選択します。
  - と  ボタンを使って値を設定します。
  - セットアップが完了したら、 ボタンを押して終了します。

- 3 IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイ、DNS をセットアップした後、**保存**を選択し  ボタンを押して設定を保存します。
- 4 入力ボタンを押さずに**保存**を選択すると、元の設定が維持されます。

**リセット** を押して、ワイヤレス設定をリセットします。

**メニュー設定** を選択して押して、メニュー設定を起動します。メニュー設定は、次のオプションで構成されます。




**メニュー位置**—OSD メニューの画面上的の位置を変更します。

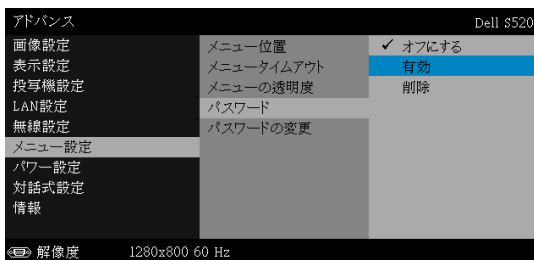
**メニュータイムアウト**—OSD タイムアウトの遅延時間を調整します。初期設定では、20 秒操作しないと OSD は非表示になります。


**メニューの透明度**—OSD 背景の透明度レベルを変更します。

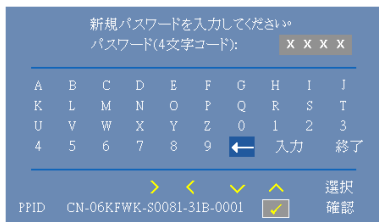
**パスワード**—パスワード保護が有効になっている場合は、電源プラグをコンセントに挿入し、プロジェクタの電源が初めて入ると、パスワードの入力を求めるパスワード保護画面が表示されます。初期設定ではこの機能は無効です。**有効**を選択することで、この機能を有効にできます。パスワードを前に設定している場合、まずパスワードを入力してから機能を選択します。このパスワードセキュリティ機能は、次回プロジェクタをオンにすると起動します。この機能を有効にすると、プロジェクタの電源を入れるとパスワードの入力が求められます。


- 1 初回パスワード入力の要請。

- a **メニュー設定**に移動し、を押したら**パスワード**を選択しパスワード設定を有効化します。



- b **パスワード機能**を有効にすると、変更スクリーンがポップアップ表示されます。スクリーンから4桁の数字を入力し、を押します。



- c 確認のため、パスワードをもう一度入力します。
- d パスワードが認証されると、プロジェクタの機能とユーティリティにアクセスできます。
- 2 間違ったパスワードを入力した場合、あと2回以内に正しいパスワードを入力する必要があります。3回無効なパスワードを入力すると、プロジェクタは自動的にオフになります。
-  **メモ**: パスワードを忘れた場合は、DELL または正規サービス技術者までご連絡ください。
- 3 パスワード機能を無効にするには、**オフにする**を選択して機能を閉じます。
- 4 パスワードを削除するには、**削除**オプションを選択します。

**パスワードの変更** 元のパスワードを入力します。次に、新しいパスワードを入力し、新しいパスワードを再び確認します。

元のパスワードを入力してください  
パスワード(4文字コード): X X X X

A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T
U	V	W	X	Y	Z	0	1	2	3
4	5	6	7	8	9	←	入力	終了	

PPID CN-06KFWK-S0081-31B-0001  選択 確認

新規パスワードを入力してください  
パスワード(4文字コード): X X X X

A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T
U	V	W	X	Y	Z	0	1	2	3
4	5	6	7	8	9	←	入力	終了	

PPID CN-06KFWK-S0081-31B-0001  選択 確認

新しいパスワードを再入力してください  
パスワード(4文字コード): X X X X

A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T
U	V	W	X	Y	Z	0	1	2	3
4	5	6	7	8	9	←	入力	終了	

PPID CN-06KFWK-S0081-31B-0001  選択 確認

**パワー設定**  を選択して押して、電源設定を起動します。電源設定メニューには次のオプションがあります。

アドバンス		Dell S520
画像設定	クイックシャットダウン	▶ オフ
表示設定	省電力	▶ 120 分
投写機設定	スタンバイ中	▶ ワイヤレスオフ
LAN設定	ランプモード	▶ ノーマル
無線設定	ランプ時リセット	▶ <input checked="" type="checkbox"/> を押す
メニュー設定		
<b>パワー設定</b>		
対話式設定		
情報		
解像度 1280x800 60 Hz		

**クイックシャットダウン** オンを選択し、電源ボタンを一回押してプロジェクタの電源を切ります。この機能で、ファンの速度を上げてプロジェクタの電源を素早く切ります。クイック電源オフの際には、幾分大きいノイズがあります。



**メモ**：プロジェクタの電源をもう一度入れる場合は、内部温度が安定するまで 60 秒待ちます。直ちに電源をオンにしようとすると、電源がオンになるまでより時間がかかります。その冷却ファンは約 30 秒間全速力で作動し、内部温度を安定します。

**省電力** デフォルトで、プロジェクタは 120 分間動作しないと省電力モードに入ります。画面に、60 秒間のカウントダウンの後、省電力モードに切り替わるという警告メッセージが表示されます。カウントダウンの間にどれかのボタンを押すと、省電力モードは停止します。

省電力モードに入る遅延時間は、他にも設定できます。遅延時間は、入力信号がない状態でプロジェクタが待機する時間です。

遅延時間の間に入力信号が検出されると、プロジェクタはオフになります。プロジェクタの電源を入れるには電源ボタンを押します。

**スタンバイ中** プロジェクタがスタンバイ状態に入っている間に（デフォルトはワイヤレスオフ）、ワイヤレスオンまたはオフを選択してワイヤレス／LAN モジュールをオン／オフに設定することもできます。


**ランプモード** ノーマル、エコ、動的、または極端な減光モードを選択することができます。

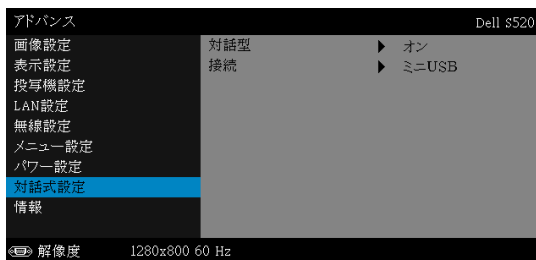
ノーマルモードは、全出力レベルで作動します。ECO モードは低出力レベルで作動するため、ランプの寿命が延び、操作が静かになり、また、画面上のルミナンス出力が弱くなります。

**動的**  を選択して押して、動的機能を有効にします。

**極端な減光**  を選択して押して、極端な調光を有効にします。

**ランプ時リセット**  を押して確認オプションを選択し、ランプ時間をリセットします。

**対話型設定**  を選択して押し、対話型設定を起動します。対話型設定メニューには次のオプションがあります。




**対話型** — オン（デフォルト）を選んで、DC 電源をオンにします。

**接続** — ミニ USB または 無線 / LAN としてレーザータッチコネクタ選択を設定します。

**情報** — 情報メニューには、現在の S520 プロジェクタ設定が表示されます。



## 言語

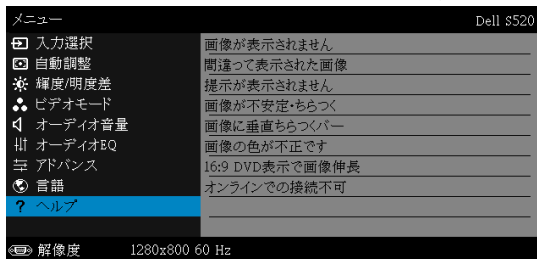
OSD 用の言語を設定します。 を押して言語メニューを起動します。





## ヘルプ

プロジェクタに問題が発生した場合、ヘルプメニューにアクセスしてトラブルシューティングを行うことができます。



## マルチメディア入門

サポートされるマルチメディアフォーマット。

### 写真形式

画像タイプ (拡張子名)	サブタイプ	エンコードタイプ	最大ピクセル
GIF			8000 x 8000
PNG			8000 x 8000
BMP			8000 x 8000
JPEG/JPG	ベースライン	YUV420	8000 x 8000
		YUV422	
		YUV440	
		YUV444	
	プログレッシブ	YUV420	8000 x 8000
		YUV422	
		YUV440	
		YUV444	


### ビデオ形式

ファイル形式	最大解像度	最大ビットレート (bps)	最大表示	オーディオ形式
Motion JPEG	1920 x 1080、30fps	20 Mbps	1080p、60 Hz	LPCM MPEG-1 Layer 3
AVI	1920 x 1080、30fps	20 Mbps	1080p、60 Hz	
MPEG-4	1920 x 1080、30fps	20 Mbps	1080p、60 Hz	
MOV	1920 x 1080、30fps	20 Mbps	1080p、60 Hz	
ASF	1920 x 1080、30fps	20 Mbps	1080p、60 Hz	
MKV	1920 x 1080、30fps	20 Mbps	1080p、60 Hz	
WMV	1920 x 1080、30fps	20 Mbps	1080p、60 Hz	WMA

## 音楽フォーマット

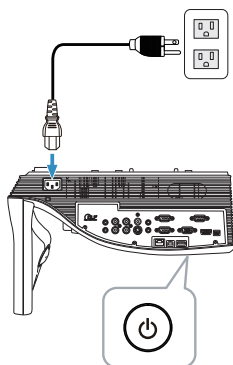
音楽タイプ (拡張子名)	最大サンプルレート (KHz)	最大ビットレート (Kbps)
LPCM	48 KHz	320 Kbps
MPEG-1 Layer 3	48 KHz	320 Kbps
WMA	48 KHz	320 Kbps
WAV	48 KHz	320 Kbps
OGG	48 KHz	320 Kbps

## USB を使ってマルチメディアにファイルタイプをセットアップする方法

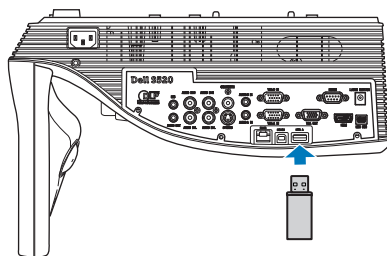
 **メモ:** マルチメディア USB 機能を使用する場合、プロジェクトに USB フラッシュディスクをつなぐ必要があります。

以下のステップに従って、プロジェクトで写真、ビデオ、または音楽ファイルを再生します。

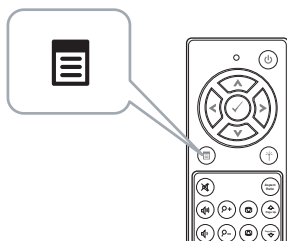
- 1 電源ケーブルを接続し、電源ボタンを押してプロジェクトの電源をオンにします。



- 2 USB フラッシュディスクをプロジェクトに差し込みます。



- 3 リモコンのメニューボタンを押します。



- 4 入力選択メニューにアクセスし、無線 /USB を選択し、サブメニューで USB ビューアを引き続き選択します。



USB 画面が次のように表示されます。

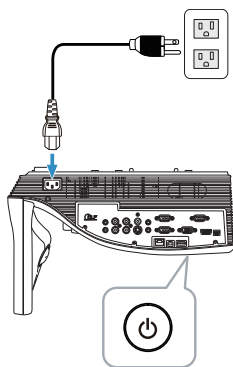


- 5 マルチメディアファイルを選択し、マルチメディアファイル（写真、ビデオ、音楽またはオフィスビューア）を選択し、 を押して再生を開始します。または、セットアップオプションを選択して、マルチメディア設定を変更します。61 ページの「マルチメディアのセットアップ」を参照してください。

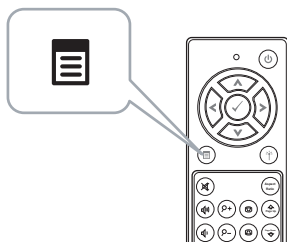
## 内部メモリを使ってマルチメディアにファイルタイプをセットアップする方法

以下のステップに従って、プロジェクタで写真、ビデオ、または音楽ファイルを再生します。

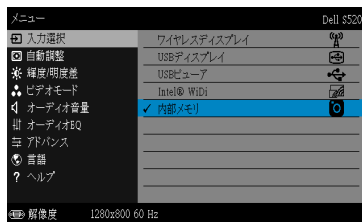
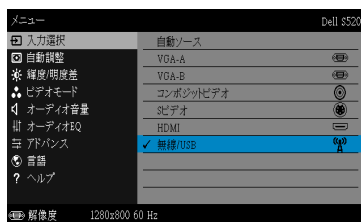
- 1 電源ケーブルを接続し、電源ボタンを押してプロジェクタの電源をオンにします。



- 2 リモコンのメニューボタンを押します。




- 3 入力選択メニューにアクセスし、無線 /USB を選択し、サブメニューで内部メモリを引き続き選択します。



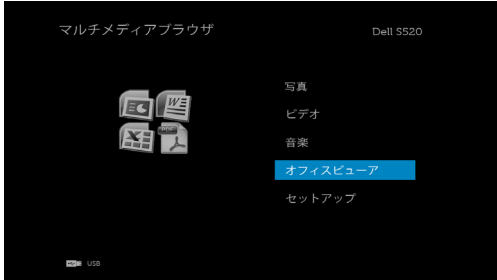
内部メモリ画面が次のように表示されます。




- 4 マルチメディアファイルを選択し、マルチメディアファイル（**写真、ビデオ、音楽**または**オフィスビューア**）を選択し、を押して再生を開始します。または、**セットアップ**オプションを選択して、マルチメディア設定を変更します。61 ページの「マルチメディアのセットアップ」を参照してください。







## USB および内部メモリ用オフィスビューア

オフィスビューア機能により、MS Excel、MS Word、MS PowerPoint および PDF ファイルを使用することができます。



### ボタンの概要

上、下、左、右ボタンを使ってナビゲートし、リモコンの  ボタンを使って選択します。

ボタン	上 	下 	左 	右 	入力 	メニュー 
	機能なし	機能なし	前のページ	次のページ	機能なし	前メニューに戻る

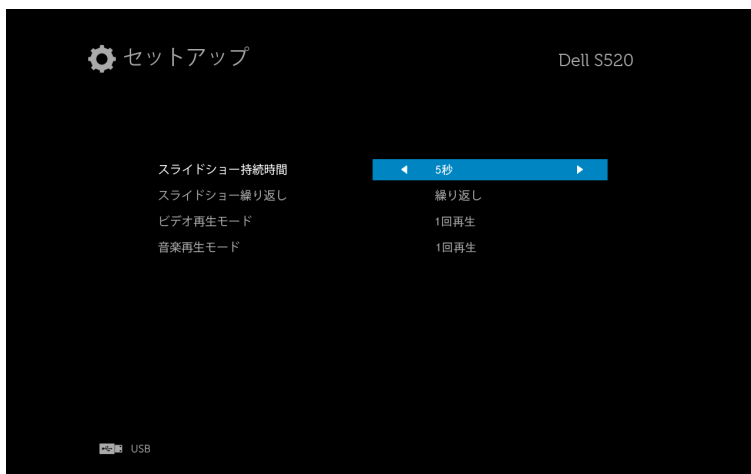


## USB および内部メモリへのマルチメディアのセットアップ

マルチメディアセットアップメニューでは、写真、ビデオおよび音楽の設定を変更します。



**メモ**：USB および内部メモリでマルチメディアセットアップメニューおよび設定は共通です。



**スライドショー持続時間** ←(◀)または(▶)を押してスライドショーの間隔を選択します。タイムアウトになった後、画像は自動的に次の画像に切り替わります。オプション：5秒、10秒、30秒、と1分。

**スライドショー繰り返し** ←(◀)または(▶)を押して、スライドショーの繰り返しを繰り返すまたは繰り返さないとして選択します。

**ビデオ再生モード** ←(◀)または(▶)を押してムービー再生モードを選択します。オプション：1回再生、アイテムの繰り返し、フォルダの繰り返し、とシャッフル。

**音楽再生モード** ←(◀)または(▶)を押してムービー再生モードを選択します。オプション：1回再生、アイテムの繰り返し、フォルダの繰り返し、とシャッフル。

## Intel® ワイヤレスディスプレイ (WiDi) のインストール



メモ：お使いのコンピュータが、以下の Intel® ワイヤレスディスプレイのシステム要件を満たしている必要があります。

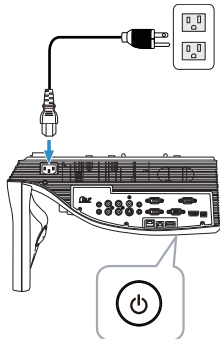
システムコンポーネント	要件
プロセッサ	次のモバイルプロセッサのいずれかであること： <b>第3世代 Intel® Core™ プロセッサ</b> ：すべてのモバイルプロセッサ  <b>第3世代 Intel® Core™ i7 プロセッサ</b> ：640M; 660LM; 640LM; 620LM; 620M; 610E; 690UM; 680UM; 660UM; 640UM; 620UM; 660UE; 3610QM; 3770T; 3820QM; 3840QM; 2710QE; 2820QM; 2720QM; 2635QM; 2630QM; 2657M; 2649M; 2629M; 2620M; 2617M; 2540M; 2520M; 2510E; 2640LM; 2620LM; 2630UM; 2610UM; 2530UM; 2920XM  <b>第3世代 Intel® Core™ i5 プロセッサ</b> ：580M; 560M; 540M; 520M; 480M; 460M; 450M; 430M; 580UM; 560UM; 540UM; 520UM; 470UM; 430UM; 2540M; 2520M; 2410M; 2537M; 2430M; 2435M, 2450M; 2467M  <b>第3世代 Intel® Core™ i3 プロセッサ</b> ：390M; 380M; 370M; 350M; 330M; 330E; 3110M; 3120M; 3240; 3240T; 3217U; 3225; 3229Y; 3220; 3220T; 2310E; 2310M; 2312M; 2328M; 2330E; 2330M; 2340UE; 2348M; 2350M; 2357M; 2365M; 2367M; 2370M; 2377M
グラフィック	Intel® HD グラフィック

ワイヤレス	<p>次のいずれかであること：</p> <p>Intel® Centrino® Wireless-N 1000、1030、2200、または 2230</p> <p>Intel® Centrino® Wireless-N 2200（デスクトップ用）</p> <p>Intel® Centrino® Advanced-N 6200、6205、6230、または 6235</p> <p>Intel® Centrino® Advanced-N 6205（デスクトップ用）</p> <p>Intel® Centrino® Wireless-N + WiMAX 6150</p> <p>Intel® Centrino® Advanced-N + WiMAX 6250</p> <p>Intel® Centrino® Ultimate-N 6300</p>
ソフトウェア	<p>Intel® マイ Wi-Fi テクノロジ（Intel® MWT）および Intel® ワイヤレスディスプレイを事前にインストールし、有効化しておく必要があります。</p>
オペレーティングシステム	<p>Windows 7（64 ビット）、Home Premium、Ultimate または Professional</p> <p>Windows 7（32 ビット）、Home Premium、Ultimate、Professional または Basic</p> <p>Windows 8 32 ビットおよび 64 ビット版</p>

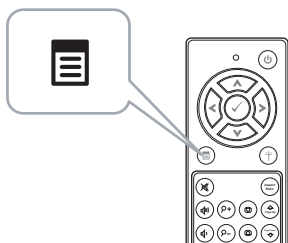
詳細情報は、Intel® WiDi ウェブサイト（[www.intel.com/go/widi](http://www.intel.com/go/widi)）を参照してください。


## プロジェクトアの Intel® WiDi を有効化する

- 1 電源ケーブルを接続し、電源ボタンを押します。

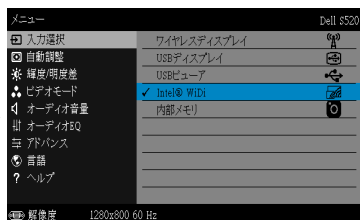
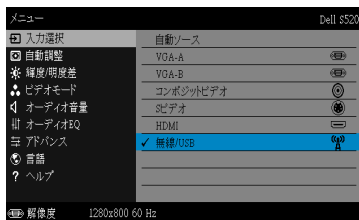


- 2 リモコンのメニューボタンを押します。

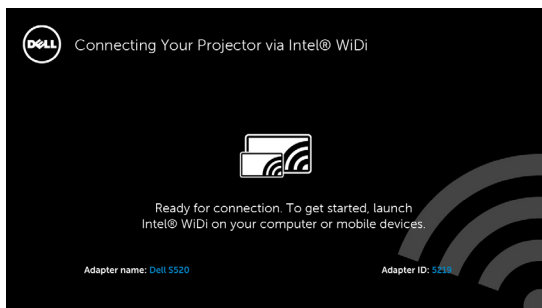


 **メモ:** (↑)、(↓)、(←)、(→) ボタンを使用して (✓) をナビゲートし選択します。

- 3 入力選択メニューにアクセスし、無線 /USB を選択し、その後、サブメニューで Intel® WiDi を選びます。



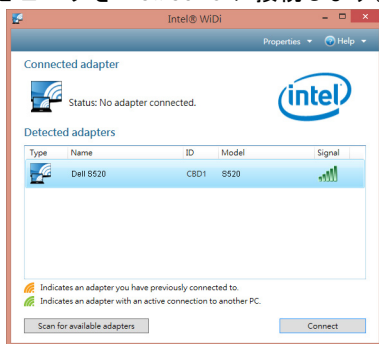
Intel® WiDi ガイド画面が、次のように表示されます。



- 4 アダプタ名および PIN コードをメモします。後でログインするためにこれらの情報が必要となります。

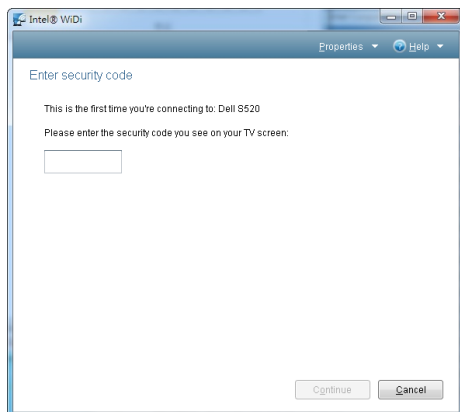
### お使いのコンピュータ上で Intel® WiDi を起動する

- 5 Windows 検索バーに WiDi と入力します。お使いのコンピュータに Intel® WiDi が内蔵されていれば、検索結果に「Intel® WiDi」アプリケーションが表示されます。
- 6 お使いのコンピュータを Dell S520 に接続します。



## ログイン

Intel® ワイヤレスディスプレイ (WiDi) インストールのステップ 4 で提供された PIN コードを使ってログインし、OK をクリックします。



## ワイヤレスディスプレイまたは LAN ディスプレイの設置



**メモ:** コンピュータには以下の最低システム要件を満たしている必要があります。

オペレーティングシステム :

- Windows

Microsoft Windows XP Home または Professional Service pack 2 (32 ビットを推奨)、Windows Vista 32-bit、および Windows 7 Home または Professional (32 ビットまたは 64 ビット)、Windows 8 (32 ビットまたは 64 ビット)

- MAC

MacBook 以上、MacOS 10.5 以上

最低ハードウェア :

a Intel Dual Core 1.4 MHz 以上

b 256 MB の RAM (必須)、512 MB 以上を推奨

c 10 MB の空きハードディスク容量

d 64 MB VRAM 以上を搭載した nVIDIA または ATI グラフィックカード

e イーサネット接続用のイーサネットアダプタ (10 / 100 bps)

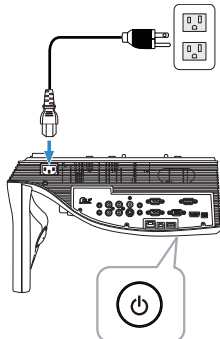
f WLAN 接続用にサポートされる WLAN アダプタ (任意の NDIS 準拠 802.11b または 802.11g または 802.11n Wi-Fi デバイス)

Web ブラウザ

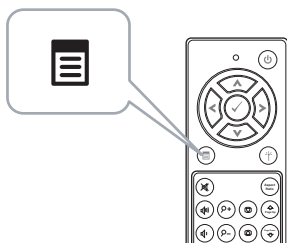
Microsoft Internet Explorer 6.0 または 7.0 (推奨) あるいは 8.0、Firefox 2.0、Safari 3.0 およびそれ以上

## プロジェクタのワイヤレスまたは LAN を有効にする

- 1 電源ケーブルを接続し、電源ボタンを押します。

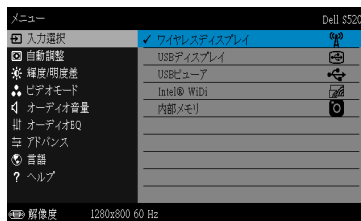
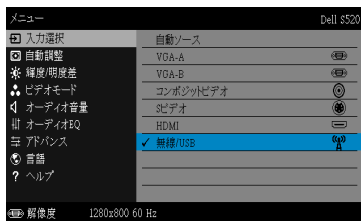


- 2 リモコンのメニューボタンを押します。



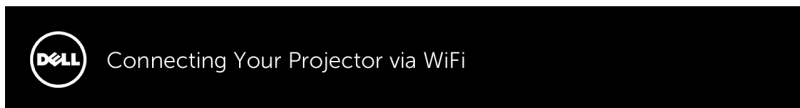
メモ：、、、 ボタンを使用して をナビゲートし選択します。

- 3 入力選択メニューにアクセスし、無線 /USB を選択し、サブメニューでワイヤレスディスプレイを引き続き選択します。





ワイヤレスガイド画面が以下に表示されます：



For First-time Connection



1. Connect your computer to the projector's wireless network (SSID):

Dell S520 abcd

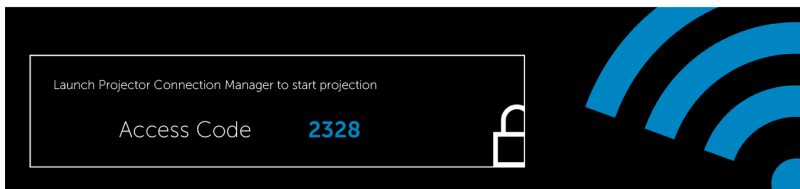


2. Open web browser and enter the IP Address into your browser's address bar:

192.168.100.10



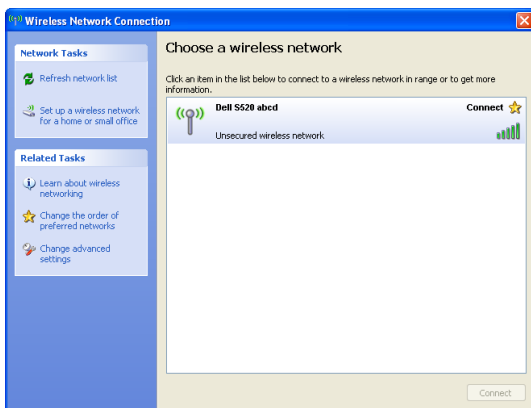
3. Click on 'Download' and run the installation program



4 ワイヤレスネットワーク (SSID)、IP アドレスおよびアクセスコードをメモします。後でログインするためにこの情報が必要となります。

お使いのコンピュータ上に Dell プロジェクタ接続マネージャをインストールする

5 コンピュータを Dell S520 abcd ワイヤレスネットワークに接続します。



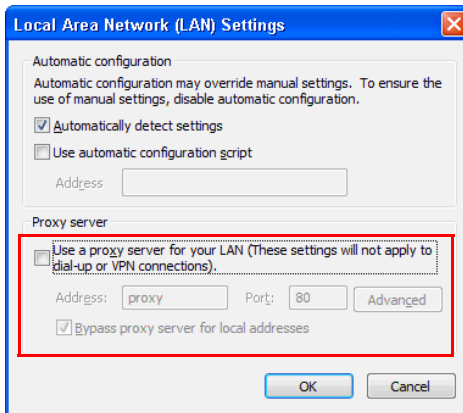


## メモ：

- コンピュータには、接続を検出するためのワイヤレスネットワーク機能が搭載されている必要があります。
- Dell S520 abcd ワイヤレスネットワークに接続すると、他のワイヤレスネットワークとワイヤレス接続を失います。



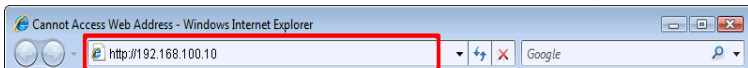
メモ：すべてのプロキシをオフにするのを忘れないでください。  
(Microsoft® Windows Vista：コントロールパネル → インターネットオプション → 接続 → LAN 設定をクリックします)



- 6 インターネットブラウザを開きます。S520 Web 管理 web ページに自動的にジャンプします。



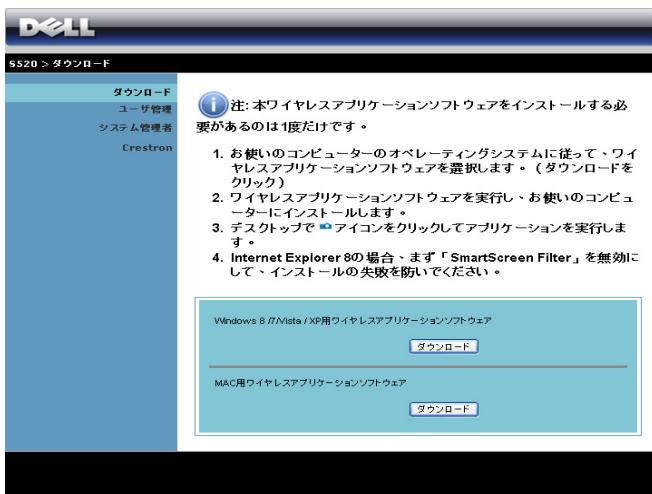
メモ：Web ページが自動的に読み込まれない場合、ブラウザのアドレスバーにプロジェクトの画面からメモした IP アドレスを入力してください（デフォルト IP アドレスは 192.168.100.10）。



- 7 S520 Web 管理ページが開きます。初めて使用する場合、ダウンロードをクリックします。



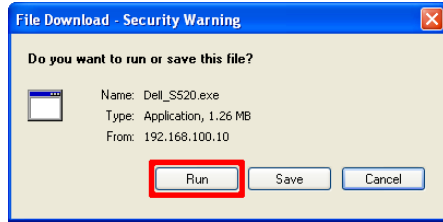
- 8 適切なオペレーティングシステムを選択し、ダウンロードをクリックします。



- 9 実行をクリックして、ソフトウェアの1回限りのインストールに進みます。



メモ：ファイルを保存した後でインストールを選択することができます。これを実行するには、**保存**をクリックします。



メモ：オーディオ投影機能は、Windows XP の場合のみ、追加ドライバのインストールが必要です。お使いのコンピュータにドライバがインストールされていない場合は、あなたに必要なドライバをインストールするように促すポップアップメッセージが表示されます。Dell サポートサイト (dell.com/support) から「**オーディオ投影ドライバ**」をダウンロードできます



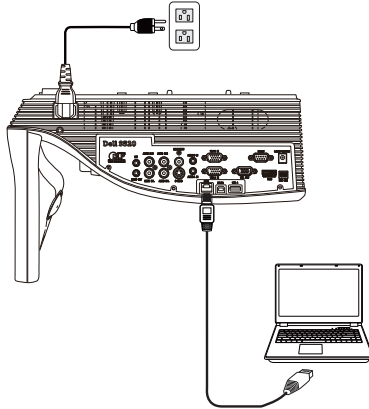
メモ：コンピュータの不適切な権利のために、アプリケーションをインストールできない場合、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

- 10 インストールソフトウェアが起動します。画面の指示に従って、セットアップを完了します。




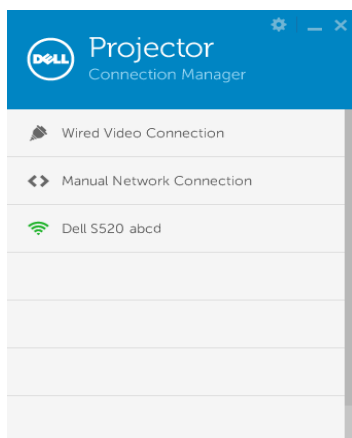


**メモ**：LAN ディスプレイの場合、LAN ケーブルをプロジェクタとコンピュータに接続します。



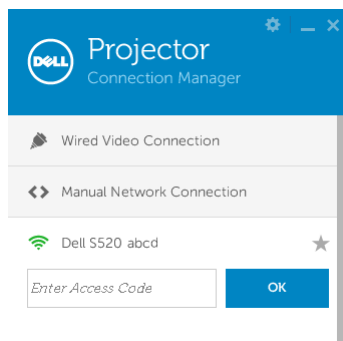
## Dell プロジェクタ接続マネージャ（ワイヤレスディスプレイ用）を起動します

インストールが完了すると、プログラムが自動的に起動し、検索します。プログラムが自動的に起動しない場合は、デスクトップ上の  アイコンをダブルクリックして、アプリケーションを起動することができます。




## ログイン

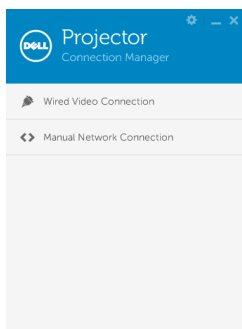
ステップ 4 の ワイヤレスディスプレイまたは LAN ディスプレイの設置 で提供されたアクセスコードを使ってログインし、OK をクリックします。



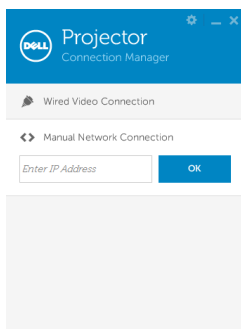
## Dell プロジェクタ接続マネージャ (LAN ディスプレイ用) を起動します

インストールが完了すると、プログラムが自動的に起動し、検索します。プログラムが自動的に起動しない場合は、デスクトップ上の  アイコンをダブルクリックして、アプリケーションを起動することができます。

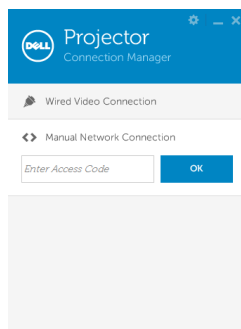
- a 「**手動ネットワーク接続**」(図 1) をクリックします。
- b **IP アドレス** (図 2、デフォルト IP アドレス : 192.168.100.10) を入力します。
- c **アクセスコード** (図 3) を入力します。



(図 1)



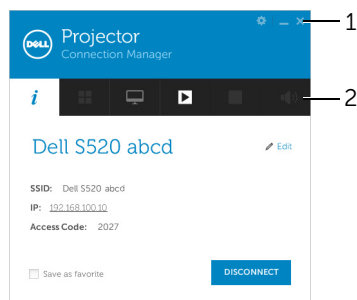
(図 2)













(図 3)

## ボタンを理解する

ログインが成功すると、次の画面が表示されます。



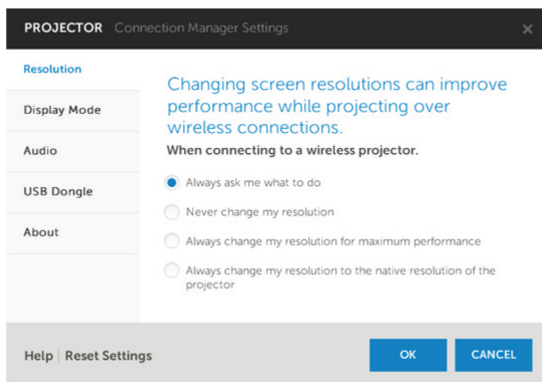
項目	説明
1 ステータスバー	
 設定	クリックして、アプリケーション設定を有効にします。
 最小化ボタン	このボタンをクリックするとアプリケーションが最小化されます。
 閉じるボタン	このボタンをクリックするとアプリケーションが閉じます。
2 コントロールツールバー	
 情報	クリックして、SSID、IP およびアクセスコード情報を表示します。
 共有モード	クリックして、共有モードを有効にします。
 表示モード	クリックして、表示モードを変更します。
 開始	クリックして投影を開始します。
 一時停止	このボタンをクリックすると投影が一時停止されます。
 停止	このボタンをクリックすると投影が停止されます。
 オーディオ	クリックして、オーディオ投影のオン/オフを切り替えます。



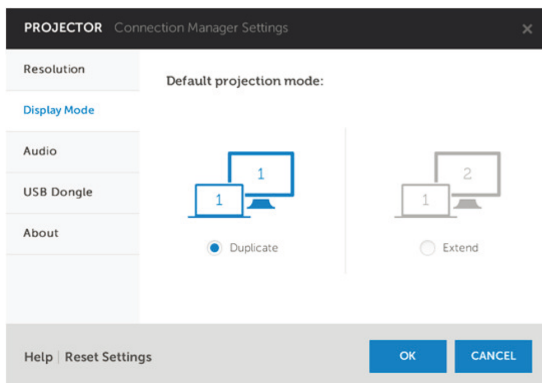
## 設定を使用する

⚙️ をクリックして設定メニューを表示します。

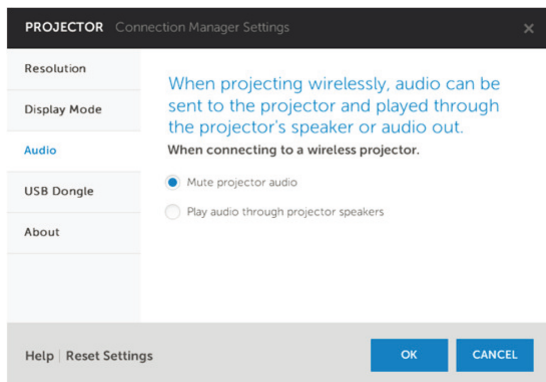
**解像度** — 解像度を設定します。



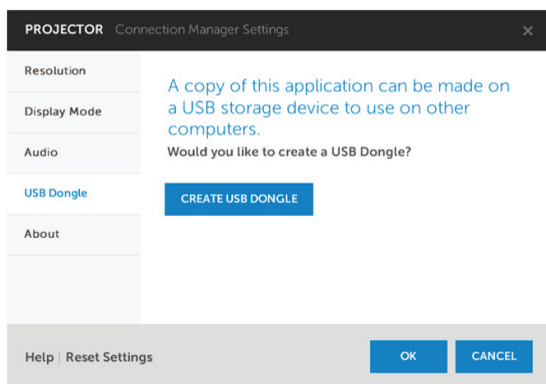
**ディスプレイモード** — デフォルト投影モードを設定できます。



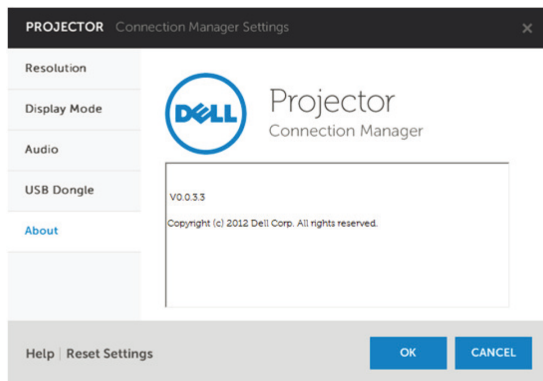
オーディオオーディオ設定を変更できます。



**USB ドングル** —USB ドングルを作成できます。106 ページの「アプリケーショントークンの作成」を参照してください。



**バージョン情報** – アプリケーションのバージョンを表示します。



## オーディオ投影のインストール

オーディオ投影では、ワイヤレスディスプレイおよび LAN ディスプレイ入カソースのみをサポートしています。

システムの最小要件は次の通りです。

オペレーティングシステム：

- Windows

Microsoft Windows XP™ Home または Professional サービスパック 2/3 (32 ビット推奨)、Windows Vista 32 ビット、または、Windows® 7 Home または Professional 32 ビットまたは 64 ビット、Windows 8 32 ビットまたは 64 ビット

- MAC

MacBook Pro 以上、MacOS 10.5 以上

最低ハードウェア：

- a Intel® Core™ i5-460 MHz (2.53 GHz/Turbo 2.8 GHz) 以上
- b 1 GB DDR3 VRAM 独立グラフィックカード以上推奨
- c 1066 MHz で 2 GB デュアルチャンネル DDR3 SDRAM メモリ以上推奨
- d ギガビットイーサネット
- e WLAN 接続用に Integrated 802.11 a/b/g/n Wi-Fi デバイス



**メモ：**コンピュータがハードウェアの最小要件を満たしていない場合、オーディオ投影が遅くなったりノイズが生じる可能性があります。オーディオ投影のパフォーマンスを最適にするには、システムの推奨最小要件を満たしてください。



**メモ：**オーディオ投影機能は、Windows XP の場合のみ追加ドライバのインストールが必要です。お使いのコンピュータにドライバがインストールされていない場合は、あなたに必要なドライバをインストールするように促すポップアップメッセージが表示されます。Dell サポートサイト ([dell.com/support](http://dell.com/support)) から「オーディオ投影ドライバ」をダウンロードできます。



**メモ：**オーディオ投影機能は、MAC オペレーティングシステムの場合、追加ドライバのインストールが必要です。お使いの MAC コンピュータにドライバがインストールされていない場合は、あなたに必要なドライバをインストールするように促すポップアップメッセージが表示されます。「Soundflower ドライバ」をいくつかの検索エンジンサイト (例、Yahoo、MSN...) からダウンロードすることができます。「Soundflower ドライバ」は、無料アプリケーションです。



**メモ**：イーサネットを介する投影用のプロジェクタへの接続用ポート  
／プロトコル：

---

UDP：1047、 (バックアップ：1048、1049)

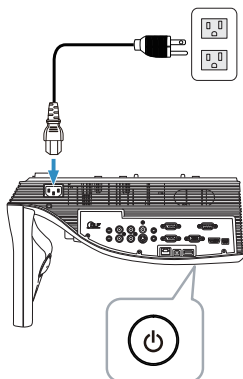
---

TCP：3268、515、1688、1041 (バックアップ：389、8080、21)

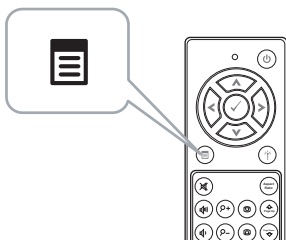
---

## プロジェクタのワイヤレスまたは LAN を有効にする。

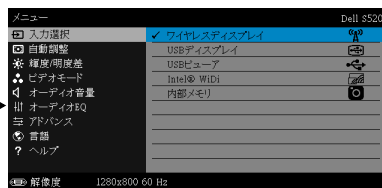
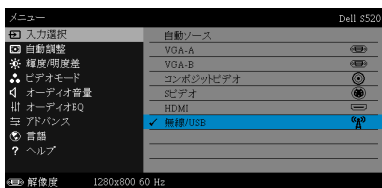
- 1 電源ケーブルを接続し、電源ボタンを押してプロジェクタの電源をオンにします。



- 2 リモコンのメニューボタンを押します。



- 3 入力選択メニューにアクセスし、無線 /USB を選択し、サブメニューでワイヤレスディスプレイを引き続き選択します。



ワイヤレスガイド画面が以下に表示されます。



- 4 ワイヤレスネットワーク (SSID)、IP アドレスおよびアクセスコードをメモします。後でログインするためにこれらの情報が必要となります。

#### お使いのコンピュータ上に Dell プロジェクタ接続マネージャをインストールする

- 5 オーディオ投影のセットアップに無線または LAN を使用している場合、「Dell プロジェクタ接続マネージャ」が必要になります。初めてオーディオ投影を使用する際に、このソフトウェアをダウンロードおよびインストールします。すでにインストールされている場合は、ステップ 5～6 を省略してください。

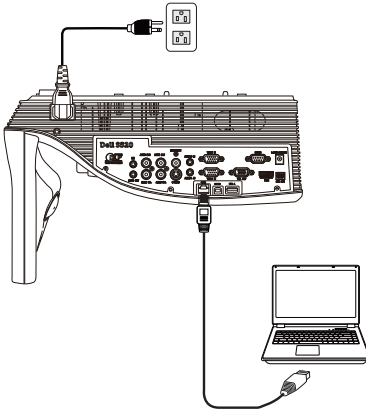


**メモ：**「Dell プロジェクタ接続マネージャ」のインストールが必要なのは 1 回だけです。


- 6 Dell プロジェクタ接続マネージャのダウンロードおよびインストールステップについては、67 ページの「ワイヤレスディスプレイまたは LAN ディスプレイの設置」のステップ 6 から 10 を参照してください。**ステップ 7 に進みます。**

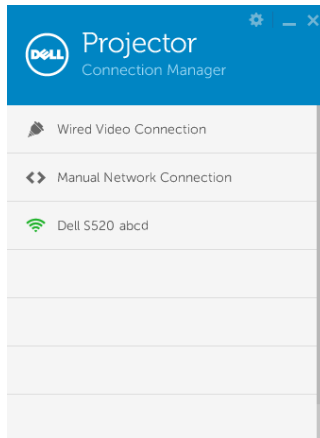


メモ：オーディオ投影用に LAN を使用する場合、LAN ケーブルをプロジェクタおよびコンピュータに接続します。ステップ 9 に進みます。



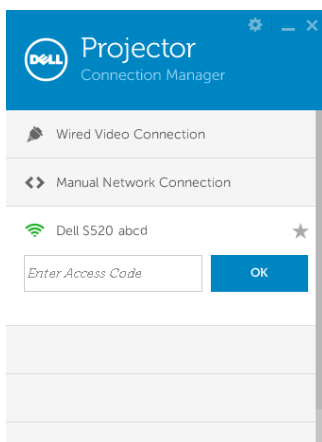
## Dell プロジェクタ接続マネージャ（ワイヤレスオーディオ投影用）を起動します

- 7 インストールが完了すると、プログラムが自動的に起動し、検索します。プログラムが自動的に起動しない場合は、デスクトップ上の  アイコンをダブルクリックして、アプリケーションを起動することができます。Dell S520 abcd を選択し、その後、OK をクリックします。






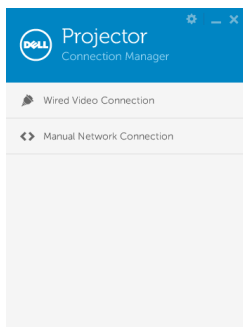
- 8 オーディオ投影インストールのステップ 4 で提供されるアクセスコードでログインし、その後、OK をクリックします。ステップ 10 に進みます。



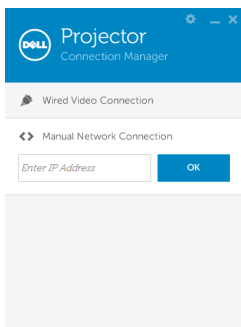
### Dell プロジェクタ接続マネージャ（LAN オーディオ投影用）を起動します

- 9 インストールが完了すると、プログラムが自動的に起動し、検索します。プログラムが自動的に起動しない場合は、デスクトップ上の  アイコンをダブルクリックして、アプリケーションを起動することができます。
- a 「**手動ネットワーク接続**」(図 1) をクリックします。
  - b **IP アドレス** (図 2、デフォルト IP アドレス : 192.168.100.10) を入力します。

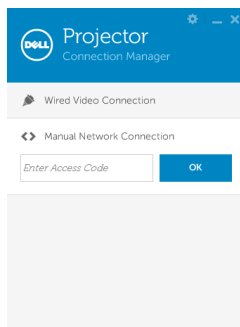
c アクセスコード (図 3) を入力します。



(図 1)



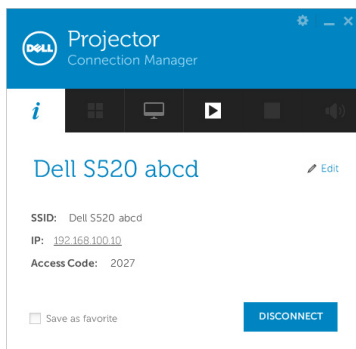
(図 2)



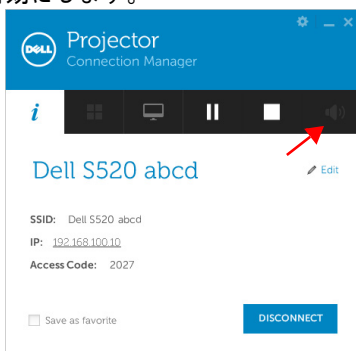
(図 3)


## オーディオ投影の利用

- 現在、Dell プロジェクタ接続マネージャにログインしています。アプリケーションの「再生」ボタンを押して、LAN またはワイヤレス投影を開始します。



- 11 アプリケーションのオーディオ投影ボタンをクリックして、オーディオ投影機能を有効にします。



 **メモ**：オーディオ投影機能は、Windows XP の場合のみ、追加ドライバのインストールが必要です。お使いのコンピュータにドライバがインストールされていない場合は、あなたに必要なドライバをインストールするように促すポップアップメッセージが表示されます。デルサポートサイト ([dell.com/support](http://dell.com/support)) から「オーディオ投影ドライバ」をダウンロードできます。

- 12 コンピュータで Windows Media Player またはその他のオーディオプレーヤーソフトウェア (Winamp プレーヤーなど) を実行します。



## Web 管理からプロジェクトの管理

### ネットワーク設定の設定

プロジェクトがネットワークに接続されている場合、Web ブラウザを使用してプロジェクトにアクセスできます。ネットワーク設定を行う場合、45 ページの「LAN 設定」を参照してください。

### Web 管理にアクセスする

Internet Explorer 6.0 以上または Firefox 2.0 以上を使用して、IP アドレスを入力します。これで Web 管理にアクセスし、リモートの場所からプロジェクトを管理できるようになりました。

### ホームページ



- Web ブラウザにプロジェクトの IP アドレスを入力することで、Web 管理ホームページにアクセスします。45 ページの「LAN 設定」を参照します。
- リストから、Web 管理用の言語を選択します。
- 左タブのメニューアイテムをクリックして、ページにアクセスします。

## Dell プロジェクタ接続マネージャをダウンロードする

67 ページの「ワイヤレスディスプレイまたは LAN ディスプレイの設置」を参照してください。

The screenshot shows the Dell website interface. At the top is the Dell logo. Below it, the breadcrumb path reads "S520 > ダウンロード". On the left side, there is a vertical navigation menu with the following items: "ダウンロード", "ユーザ管理", "システム管理者", and "Crestron". The main content area features a blue header with a white information icon and the text: "注: 本ワイヤレスアプリケーションソフトウェアをインストールする必要があるのは1度だけです。". Below this, there are four numbered instructions in Japanese: 1. Select the operating system (Windows 8/Vista/XP or MAC) and click download. 2. Execute the application software and install it on the computer. 3. Click the application icon on the desktop to execute it. 4. For Internet Explorer 8, disable the SmartScreen Filter to prevent installation failure. At the bottom of the main content area, there is a light blue box containing two download buttons: "ダウンロード" for "Windows 8/Vista/XP用ワイヤレスアプリケーションソフトウェア" and "ダウンロード" for "MAC用ワイヤレスアプリケーションソフトウェア".

コンピュータの対応するオペレーティングシステムのダウンロードボタンをクリックします。

## プロジェクトの管理

### システム管理者

The screenshot shows the Dell Project Management System Administrator login interface. At the top is the Dell logo. Below it is a navigation bar with the text "S520 > システム管理者". On the left is a vertical menu with the following items: "ダウンロード", "ユーザ管理", "システム管理者" (highlighted), and "Crestron". The main content area is a light blue box containing a login form. The form has a label "管理者パスワード" next to a text input field, and a "ログイン" button. Below the input field, the text "PPID CN-06KPYMK-S0081-350-0028" is displayed. At the bottom of the page is a black bar with the text "Copyright © 2013 Dell Inc. All rights reserved."

管理ページにアクセスするには、システム管理者パスワードが要求されま  
す。

- **管理者パスワード**：管理者パスワードを入力して、**ログイン**をクリックします。初期設定のパスワードは「admin」です。パスワードを変更するには、95 ページの「パスワードの変更」を参照してください。

## 状態

The screenshot shows the Dell system management interface. At the top, there is a navigation bar with the Dell logo and the text "S520 > システム管理者 > 状態". On the right side of the navigation bar, there is a "ホーム" (Home) button. The main content area is divided into a left sidebar and a main table. The sidebar contains a "状態" (Status) section with several menu items: "ネットワークセットアップ", "投影セットアップ", "パスワードの変更", "出荷時状態に戻す", "ファームウェア更新", "プロジェクタのコントロールパネル", and "アラート設定". Below these items is a "再起動" (Restart) button with a red power icon. The main table displays status information for the projector, organized into three sections: "ネットワーク状態" (Network Status), "接続状態" (Connection Status), and "プロジェクターの状態" (Projector Status). The "ネットワーク状態" section lists IP address, subnet mask, default gateway, and MAC address. The "接続状態" section shows the projection status and the number of users. The "プロジェクターの状態" section lists model name, projector name, location, connection status, status, and lamp hours.

ネットワーク状態	
IPアドレス	192.168.100.10
サブネットマスク	255.255.255.0
デフォルトゲートウェイ	192.168.100.10
MACアドレス	B8:CA:3A:FD:5A:A2

接続状態	
投影状態	投影待ち中
ユーザー数	0

プロジェクターの状態	
モデル名	S520
プロジェクタ名	S520
場所	
連絡先	
ステータス	オン
ランプ時間	40 hrs

ネットワーク状態、接続状態、およびプロジェクターの状態情報を表示します。

## ネットワークセットアップ

45 ページの OSD セクションを参照してください。

The screenshot shows the Dell network configuration interface. The top navigation bar includes the Dell logo and the path "5520 > システム管理者 > ネットワークセットアップ". A "ホーム" button is visible in the top right. The left sidebar contains a navigation menu with options like "監視", "ネットワークセットアップ", "投影セットアップ", "パスワードの管理", "出荷時状態に戻す", "ファームウェア更新", "プロジェクトのコントロールパネルアラート設定", and "再起動". The main content area is divided into several sections:

- IP セットアップ**: Radio buttons for "IPアドレスを自動的に取得" (selected) and "次の IP アドレスを使用する". Fields for IP Address (192.168.100.10), Subnet Mask (255.255.255.0), Default Gateway (192.168.100.10), and DNS Server (192.168.100.10).
- DHCP セットアップ**: Radio buttons for "自動" (selected) and "無効". Fields for Start IP Address (192.168.100.11), End IP Address (192.168.100.254), Subnet Mask (255.255.255.0), Default Gateway (192.168.100.10), and DNS Server (192.168.100.10).
- 無線セットアップ**: Radio buttons for "有効" (selected) and "無効". Fields for Region (--- WORLDWIDE ---), SSD (Dell S520 abcd), SSD Broadcast (radio buttons for "有効" and "無効"), Frequency Band (radio buttons for "2.4 GHz" and "5 GHz"), Channel (自動), Security (無効), and Key.
- RADIUS Server Setup**: Fields for IP Address (192.168.100.10), Port (1812), and Key.
- GateKeeper**: Radio buttons for "全て開放" (selected), "全て遮断", and "インターネットのみ開放".
- SNMP に対してセキュリティを設定します**: Radio buttons for "書き込みコミュニティ" and "private".

Buttons for "適用" and "キャンセル" are located at the bottom right of the configuration area.

### IP セットアップ

- IP アドレスを自動的に取得を選択して IP アドレスをプロジェクトに自動的に割り当てるか、次の IP アドレスを使用するで IP アドレスを手動で割り当てます。

### DHCP セットアップ

- 自動を選択して開始 IP アドレス、終了 IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイおよび DNS サーバアドレスを DHCP サーバから自動的にセットアップするか、または無効でこの機能を無効にします。



## 無線セットアップ

- **有効**を選択して**地域**、**SSID**、**SSID ブロードキャスト**、**Frequency Band**、**チャンネル**、**セキュリティ**、**キー**をセットアップします。無効を選択して、ワイヤレスセットアップを無効にします。

**SSID** : 最大 32 の文字長。

**セキュリティ** : WPA キーを無効にしたり、ASCII または HEX 文字列で 64 ビットまたは 128 ビットのどちらかを選択します。

**キー** : セキュリティが有効になると、選択したセキュリティモードに従ってキー値を設定する必要があります。

## RADIUS Server Setup

- IP アドレス、Port およびキー情報をセットアップします。

## GateKeeper

- 3つのオプションがあります。
  - 全て開放** : ワイヤレスプロジェクトを介してオフィスのネットワークへのアクセスを許可します。
  - 全て遮断** : ワイヤレスプロジェクトを介してオフィスのネットワークへのユーザーのアクセスをブロックします。
  - インターネットのみ開放** : ユーザーをオフィスネットワークからブロックしますが、インターネット接続機能は留保されます。

## SNMP に対してセキュリティを設定します

- 書き込みコミュニティ情報をセットアップします。

**適用** ボタンをクリックして変更を保存し、適用します。変更を有効にするには、プロジェクトを再起動する必要があります。

## 投影セットアップ

9520 > システム管理者 > 投影セットアップ

ホーム >>

状態  
ネットワークセットアップ  
**投影セットアップ**  
パスワードの変更  
出荷時状態に戻す  
ファームウェア更新  
プロジェクタのコントロールパネル  
アラート設定

再起動

投影セットアップ

解像度  
WXGA (1280x800)

認証コード  
 無効  
 ランダム  
 指定

適用 キャンセル

## 投影セットアップ

- **解像度**：解像度を選択します。オプション：XGA (1024 x 768) と WXGA (1280 x 800)。
- **認証コード**：プロジェクタでログインコードの生成方法を選択します。3つのオプションがあります。
  - **無効**：システムにログインしているとき、ログインコードは必要ありません。
  - **ランダム**：デフォルトはランダムです。ログインコードはランダムに生成されます。
  - **指定**：4桁のコードを入力します。このコードは、システムにログインするために使用されます。

適用ボタンをクリックして変更を保存し、適用します。変更を有効にするには、プロジェクタを再起動する必要があります。

## パスワードの変更

The screenshot shows the Dell S520 System Administrator web interface. At the top, there is a navigation bar with the Dell logo and the breadcrumb "S520 > システム管理者 > パスワードの変更". A "ホーム" (Home) link is visible in the top right. On the left, a sidebar menu lists various system management options, with "パスワードの変更" (Change Password) highlighted. The main content area is titled "システム管理者" (System Administrator) and contains a form with two input fields: "新しいパスワード" (New Password) and "パスワード再入力" (Re-enter Password). A "適用" (Apply) button is located to the right of the second input field. At the bottom of the sidebar, there is a "再起動" (Restart) button with a red square icon.

このページにより、管理者パスワードを変更します。

- **新しいパスワード**：新しいパスワード。
- **パスワード再入力**：パスワードを再入力して、**適用**をクリックします。



**メモ**：管理者パスワードを忘れた場合、Dellにご連絡ください。


## 出荷時状態に戻す



S520 > システム管理者 > 出荷時状態に戻す

ホーム >>

- 状態
- ネットワークセットアップ
- 投影セットアップ
- パスワードの変更
- 出荷時状態に戻す**
- ファームウェア更新
- プロジェクトのコントロールパネル
- アラート設定
- 再起動



### 出荷時状態に戻す

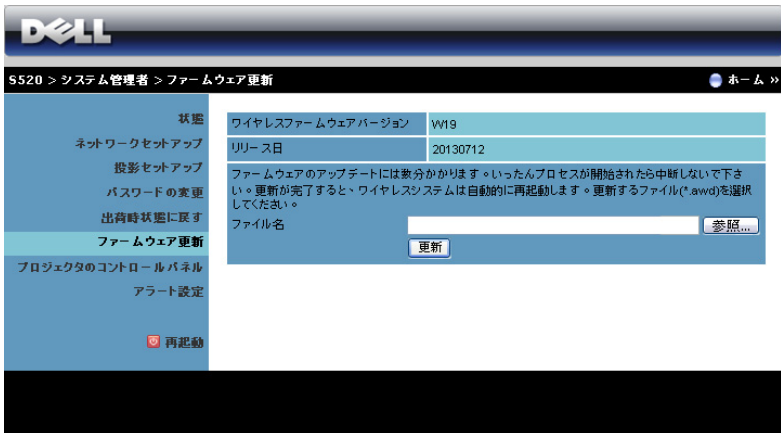
これで、ワイヤレス/ネットワークの設定をデフォルト設定に戻します。


適用

適用ボタンをクリックしてすべてのワイヤレス/ネットワーク設定を工場出荷時の初期設定に復元します。

## ファームウェア更新

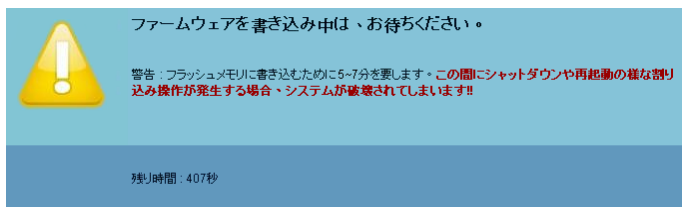
ファームウェア更新ページを使って、プロジェクトのワイヤレスファームウェアを更新します。




 **メモ**：ファームウェアアップグレードが成功した後、OSD を使ってワイヤレス／ネットワークの無効／有効を切り替えてプロジェクトのネットワークカードを再起動してください。

ファームウェア更新を開始するには、次のステップを行います。

- 1 **dell.com/support** からファームウェアファイルをダウンロードできます。
- 2 **参照** を押して更新するファイルを選択します。
- 3 **更新** ボタンをクリックして開始します。デバイスでファームウェアを更新している間、お待ちください。



 **注意**：更新プロセスを中断しないでください。システム破壊の原因となります。

- 4 更新が完了したら、**確認** をクリックします。



## プロジェクタのコントロールパネル

The screenshot shows the Dell projector control panel interface. At the top, there is a navigation bar with the Dell logo and the text "S520 > システム管理者 > プロジェクタのコントロールパネル". Below this, there is a sidebar on the left with navigation options like "状態", "ネットワークセットアップ", "投影セットアップ", "パスワードの変更", "出荷時状態に戻す", and "ファームウェア更新". The main content area is titled "プロジェクタのコントロールパネル" and contains several sections:

- プロジェクタ情報**: Projector status (オン), Power (120mins), Alert status (よい), and Refresh button.
- イメージ制御**: Operation mode (Standard, Eco, Dynamic, strExtreme), Projection mode (Rear projection), Source selection (Wireless display), Video mode (Presentation mode), Blank screen (On/Off), Aspect ratio (Original, 4:3, VWide), Brightness (50), Contrast (50), and Auto adjustment button.
- オーディオ管理**: Volume (20) and Reset button.

### プロジェクタ情報

- プロジェクターの状態**：次の5つの状態があります：ランプオン、スタンバイ、省電力、冷却、ウォームアップ。リフレッシュをクリックして、ステータスとコントロール設定を更新します。
- 省電力**：省電力はオフ、30分、60分、90分、120分に設定できます。詳しくは、51ページの「省電力」を参照してください。
- アラート状態**：3つのアラート状態があります：ランプ警告、ランプ寿命の低下、および温度警告。警報が有効になっている場合、プロジェクタは保護モードにロックされます。保護モードを終了するには、クリアをクリックしてアラート状態を消去してから、プロジェクタの電源をオンにします。

## イメージ制御

- **投影モード**：プロジェクタの取り付け方法によって投影モードを選択できます。次の2つの投影モードがあります：リアプロジェクションシー壁掛けおよびフロントプロジェクションシー壁掛け。
- **ソース選択**：ソース選択メニューを使ってプロジェクタの入力ソースを選択します。VGA-A、VGA-B、Sビデオ、コンポジットビデオ、HDMI、ワイヤレスディスプレイ、USB ディスプレイ、USB ビューア、Intel® WiDi、または、内部メモリを選択できます。
- **ビデオモード**：プロジェクタを使用する方法に基づいて、ディスプレイ画像を最適化するモードを選択します。
  - **プレゼンテーション**：プレゼンテーションスライドに最適です。
  - **明るさ**：最大の明るさとコントラスト。
  - **映画**：映画と写真の表示用です。
  - **sRGB**：より正確なカラープレゼンテーションを提供します。
  - **カスタム**：お好みの設定です。
- **何もうつっていない画面**：オンまたはオフを選択できます。
- **縦横比**：縦横比を選択して画像の表示方法を調整します。
- **明るさ**：値を選択して画像の明るさを調整します。
- **コントラスト**：値を選択してディスプレイのコントラストを調整します。

自動調整ボタンをクリックして、設定を自動的に調整します。

## オーディオ管理

- **ボリューム**：オーディオボリュームに対して値 (0 ~ 20) を選択します。

出荷時にリセットボタンをクリックして、工場出荷時の設定に復元します。

## アラート設定

5520 > システム管理者 > アラート設定

状態

ネットワークセットアップ

投影セットアップ

パスワードの管理

出荷時状態に戻す

ファームウェア更新

プロジェクトのコントロールパネル

アラート設定

再起動

### Eメールアラート

有効  無効 メール警報テスト

宛先

Cc

発信元

件名

### SMTP設定

送信SMTPサーバ

ユーザー名

パスワード

### 警報条件

ランプ警告

ランプ寿命が短くなっています

ランプ寿命が短くなっています

保存

### Eメールアラート

- Eメールアラート：Eメールで通知を受け取るか（有効）、または受け取らない（無効）かを設定できます。
- 宛先／Cc／発信元：異常または警告が発生した場合、通知を受信する送信者（発信元）と受信者（宛先／Cc）のEメールアドレスを入力できます。
- 件名：Eメールの件名を入力できます。

メール警報テストボタンをクリックして、Eメールアラート設定をテストします。

### SMTP設定

- 送信SMTPサーバー、ユーザー名とパスワードはネットワーク管理者またはMISから提供を受ける必要があります。

### 警報条件

- Eメールで通知する異常や警告を選択できます。どれかの警報条件が発生したとき、Eメールが受信者（宛先／Cc）に送信されます。

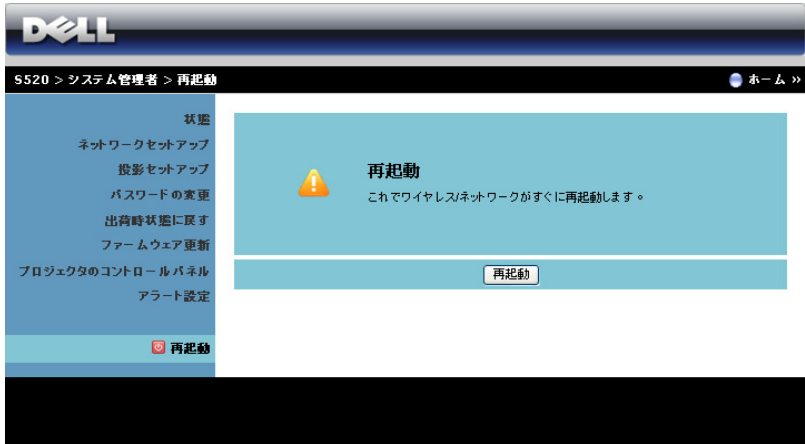
保存ボタンをクリックして設定を保存します。



**メモ**：電子メールアラートは、デフォルトの25ポートを使う標準のSMTPサーバーで機能するように設計されています。暗号化と認証（SSLまたはTLS）はサポートしません。



## 再起動



再起動をクリックすると、システムが再起動します。

## Crestron



Crestron 機能の場合。

## よくある質問

インターネット経由でプロジェクトにリモートでアクセスするつもりです。ブラウザをどのように設定すればいいのでしょうか。

ブラウザを最適の状態を設定するには、以下のステップに従ってください。

- 1 **コントロールパネル → インターネットオプション → 全般タブ → インターネット一時ファイル → 設定 → ページを表示するたびに確認する**を選択します。
- 2 一部のファイアウォールやアンチウイルスが HTTP アプリケーションをブロックすることがあります。可能な場合、ファイアウォールやアンチウイルスをオフにしてください。

インターネット経由でプロジェクトにリモートでアクセスするつもりです。そのためには、どのソケットポート番号をファイアウォールで開くべきですか。

次は、プロジェクトが使用する TCP/IP ソケットポートです。

UDP/TCP	ポート番号	説明
TCP	80	Web 設定 (HTTP)
UDP/TCP	25	SMTP : メールサーバー間で Eメールルーティングに使用します
UDP/TCP	161	SNMP : 簡易ネットワーク管理プロトコル
UDP	9131	AMX : AMX ディレクトリに使用します

---

インターネットを介してプロジェクトにアクセスできないのは、どうしてですか。

- 1 コンピュータ／ノート PC がインターネットに接続されているかどうか、確認してください。
- 2 コンピュータ／ノート PC が同じサブネットに有るかどうか、MIS またはネットワーク管理者にお問い合わせください。

---

SMTP サーバーにアクセスできないのは、どうしてですか。

- 1 SMTP サーバー機能がプロジェクトに対して開いており、プロジェクトに割り当てられた IP が SMTP サーバーへのアクセスを許可されているかどうか、MIS またはネットワーク管理者にお問い合わせください。プロジェクトの SMTP ソケットポート番号は 25 で、これを変更することはできません。
- 2 送信 SMTP サーバー、ユーザー名、パスワードが正しく設定されているか、確認してください。
- 3 SMTP サーバーには、「発信元」のメールアドレスが「ユーザ名」と「パスワード」に相互に関連付けられているかどうかを確認するものもあります。例えば、「発信元」のメールアドレスとして [test@dell.com](mailto:test@dell.com) を使用します。SMTP サーバーにログインするユーザ名とパスワードに対して、[test@dell.com](mailto:test@dell.com) アカウント情報を使用する必要もあります。

---

プロジェクトがテストメールの送信されたことをすでに示しているのに、メール警報テストを受信できないのはどうしてですか。

SMTP サーバーが警報メールをスパムメールとして認識しているか、SMTP サーバーの制約が原因となっていると思われます。SMTP サーバーの設定については、MIS またはネットワーク管理者にお問い合わせください。

---

## ファイアウォール設定とよくある質問 (FAQ)

Q : Web 管理ページにアクセスできないのは、どうしてですか。

A : コンピュータのファイアウォール設定では、Web 管理 Web ページにアクセスできないようにします。次の設定をご参照ください。

---


ファイアウォール 保護	設定
McAfee Security Center	<ol style="list-style-type: none"><li>1 McAfee セキュリティセンターを起動します (スタート &gt; すべてのプログラム &gt; McAfee &gt; McAfee Security Center)。</li><li>2 <b>personal firewall plus</b> タブで、<b>View the Internet Applications List</b> リストをクリックします。</li><li>3 リストから <b>Dell S520 Projector</b> を検索し、選択します。</li><li>4 その <b>Permissions</b> カラムを右クリックします。</li><li>5 ポップアップメニューから <b>Allow Full Access</b> を選択します。</li></ol>
Norton AntiVirus	<ol style="list-style-type: none"><li>1 Norton AntiVirus を開きます (スタート &gt; すべてのプログラム &gt; Norton AntiVirus &gt; Norton AntiVirus)。</li><li>2 <b>Options</b> メニューをクリックしてから、<b>Norton AntiVirus</b> を選択します。</li><li>3 <b>Status</b> ページで、<b>Internet Worm Protection</b> を選択します。</li><li>4 プログラムのリストから <b>Dell S520 Projector</b> を検索し、選択します。</li><li>5 その <b>Internet Access</b> カラムを右クリックします。</li><li>6 ポップアップメニューから <b>Permit All</b> を選択します。</li><li>7 <b>OK</b> をクリックします。</li></ol>

---

<b>ファイアウォール 保護</b>	<b>設定</b>
<b>Sygate Personal Firewall</b>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 Sygate パーソナルファイアウォールを開き ます(スタート &gt; <b>すべてのプログラム</b> &gt; <b>Sygate</b> &gt; <b>Sygate Personal Firewall</b>)。</li> <li>2 <b>Running Applications</b> リストから、<b>Dell S520 Projector</b> を検索して右クリックします。</li> <li>3 ポップアップメニューから <b>Allow</b> を選択し ます。</li> </ol>
<b>Windows ファイ アウォール</b>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 Windows ファイアウォールを開きます (スタート &gt; <b>すべてのプログラム</b> &gt; <b>コント ロールパネル</b>)。Windows ファイアウォール をダ ブルクリックします。</li> <li>2 <b>全般</b> タブで、<b>例外を許可しない</b> のチェックを 外します。</li> <li>3 <b>例外</b> タブで、<b>プログラムの追加 ...</b> ボタンをク リックします。</li> <li>4 プログラムのリストから <b>Dell S520 Projector</b> を検索し、選択したら、<b>OK</b> をクリックしま す。</li> <li>5 <b>OK</b> をクリックして、例外設定を確認します。</li> </ol>
<b>ゾーンアラーム</b>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 ゾーンアラームファイアウォールを開きます (スタート &gt; <b>すべてのプログラム</b> &gt; <b>ゾーンラ ボ</b> &gt; <b>ゾーンラボセンター</b>)。</li> <li>2 <b>Program Control</b> ページで、リストから <b>Dell S520 Projector</b> を検索し、選択します。</li> <li>3 その <b>Access-Trusted</b> カラムを右クリックしま す。</li> <li>4 ポップアップメニューから <b>Allow</b> を選択しま す。</li> <li>5 <b>Access-Internet</b>、<b>Server-Trusted</b>、および <b>Server-Internet</b> カラムで <b>Allow</b> を右クリック し、選択します。</li> </ol>

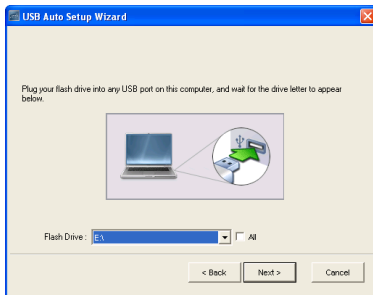
## アプリケーショントークンの作成

アプリケーショントークンでは、USB トークンを使用してプラグおよび表示を実行できます。

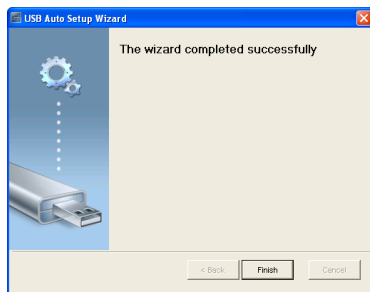
- 1 アプリケーションソフトウェアで、 > **USB ドングル**をクリックします。
- 2 次の画面が表示されます。**Next (次へ)** をクリックします。



- 3 コンピュータの USB ポートのどれかにフラッシュドライブを差し込みます。リストからドライブを選択し、**Next (次へ)** をクリックします。



- 4 **Finish (終了)** をクリックしてウィザードを閉じます。



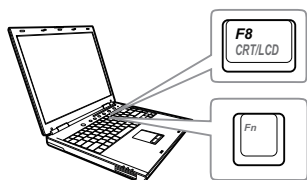
# 4

## プロジェクトラのトラブルシューティング



プロジェクトラに問題が生じた場合は、次のトラブルシューティングを参照してください。問題が解消しない場合は Dell までお問い合わせください (Dell へのお問い合わせは 121 ページをご覧ください)。





### 問題

画面に画像が表示されない




### 解決方法

- 「入力ソース」メニューで、正しい入力ソースを選択していることを確認してください。
- 外部グラフィックスポートが有効になっていることを確認します。Dell ノートパソコンをご使用の場合は   (Fn+Fn) を押します。その他のコンピュータについては、それぞれの取扱説明書をお読みください。画像が正しく表示されない場合、コンピュータのビデオドライバをアップグレードしてください。Dell コンピュータの場合、support.dell.com を参照してください。
- すべてのケーブルがしっかりと接続されていることを確認します。9 ページの「プロジェクトラの接続」をご覧ください。
- コネクタのピンが曲がったり、折れたりしていないことを確認します。
- ランプがしっかりと取り付けられているかどうか確認してください (113 ページの「ランプの交換」をご覧ください)。
- アドバンスの投写機設定メニューのテストパターンを使用します。テストパターンの色が正しいことを確認します。

問題 (続き)	解決方法 (続き)
<p>画像が一部しか表示されない、スクロールする、または、正しく表示されない</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 リモコンの Auto Adjust ボタンを押します。</li> <li>2 Dell ノートパソコンをお使いの場合は、コンピュータの解像度を WXGA (1280 x 800) に設定します。 <ol style="list-style-type: none"> <li>a Microsoft® Windows® デスクトップの使っていない部分を右クリックし、プロパティをクリックして、次に、設定タブを選択します。</li> <li>b 外部モニターポートの設定が 1280 x 800 ピクセルになっていることを確認します。</li> <li>c   (Fn+F8) を押します。</li> </ol> </li> </ol> <p>解像度を変更できない場合や、モニターがフリーズする場合は、すべての装置とプロジェクトを再起動します。</p> <p>Dell ノートパソコンをご使用でない場合は、取扱説明書をご覧ください。画像が正しく表示されない場合、コンピュータのビデオドライバをアップグレードしてください。Dell コンピュータの場合、support.dell.com を参照してください。</p>
<p>画面にプレゼンテーションが表示されない</p>	<p>ノートパソコンをお使いの場合は、  (Fn+F8) を押します。</p>
<p>画像が不安定、または、ちらつく</p>	<p><b>アドバンスメニューの OSD 表示設定</b>でトラッキングを調整します (PC モードのみ)。</p>
<p>画像に縦線が入る</p>	<p><b>アドバンスメニューの OSD 表示設定</b>で周波数を調整します (PC モードのみ)。</p>
<p>画像の色が正しくない</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• ディスプレイがグラフィックスカードから間違った信号出力を受信する場合は、<b>アドバンスタブの OSD 画像設定</b>で信号の種類を RGB に設定してください。</li> <li>• <b>アドバンスメニューの投写機設定のテストパターン</b>を使用します。テストパターンの色が正しいことを確認します。</li> </ul>



問題 (続き)	解決方法 (続き)
画像の焦点が合わない	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 プロジェクタレンズのフォーカスリングを調整します。</li> <li>2 投影画面がプロジェクタから許容距離内にあることを確認します (0.597 m ~ 0.731 m)。</li> </ol>
16:9 DVD を表示すると画像が伸びる	<p>プロジェクタは自動的に入力信号形式を検出します。投影画像の縦横比を入力信号形式に従って元の初期設定で維持します。</p> <p>画像がそれでも伸びる場合、OSD の詳細設定の表示設定メニューで縦横比を調整してください。</p>
画像が反転する	<p>OSD で<b>アドバンスの投写機設定</b>を選択し、投影モードを調整します。</p>
ランプが切れた、または、音がする	<p>ランプの寿命がなくなると、切れたり音がすることがあります。この場合は、プロジェクタの電源は入りません。ランプを交換するには、113 ページの「ランプの交換」を参照してください。</p>
ランプライトがオレンジ色で点灯	<p>ランプライトがオレンジ色で点灯する場合は、ランプを交換します。</p>
ランプライトがオレンジ色で点滅	<p>ランプのライトがオレンジ色に点滅する場合、ランプモジュール接続が途切れている可能性があります。ランプモジュールをチェックし、適切にインストールされていることを確認してください。</p> <p>ランプと電源 LED がオレンジ色に点滅している場合はランプドライバが失効し、プロジェクタが自動的にシャットダウンすることを示します。</p> <p>ランプおよび温度ライトがオレンジ色で点滅し、電源ライトが青色で点灯する場合は、カラーホイールが故障し、プロジェクタが自動的にシャットダウンすることを示します。</p> <p>保護モードを消去するには、電源ボタンを 10 秒間押し続けます。</p>

問題 (続き)	解決方法 (続き)
温度ライトがオレンジ色で点灯	プロジェクトが過熱しています。ディスプレイは自動的にシャットダウンします。プロジェクトが冷却してからディスプレイの電源をもう一度入れます。問題が解消しない場合は Dell までお問い合わせください。
温度ライトがオレンジ色で点滅	プロジェクトのファンが故障すると、プロジェクトは自動的に停止します。電源ボタンを 10 秒間押し続けることで、プロジェクトモードを消去してみてください。5 分間待ってから、再び電源をオンにしてください。問題が解消しない場合は Dell までお問い合わせください。
OSD が画面に表示されない	パネルにあるメニューボタンを 15 秒間押しして OSD のロックを解除します。
リモコンがスムーズに動作しない、または、限られた範囲でしか動作しない	電池の残量が少なくなっています。レーザービームが弱い場合は、新しい単 4 電池 2 本と交換します。
DoUSB が表示されません	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Windows</li> </ul> <p>Display over USB (DoUSB) は、自動的に実行されます。手動で USB ディスプレイを実行するには、マイコンピュータに移動し、「USB_Display.exe」を実行します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• MAC <ul style="list-style-type: none"> <li>a CD-ROM の USB_DISPLAY に移動し、「MAC_USB_Display.pkg」を実行します。</li> <li>b 画面の指示に従って、インストールを完了します。</li> <li>c システムを再起動した後、コンピュータとプロジェクトに USB ケーブルを再接続します。</li> </ul> </li> </ul> <p> <b>メモ:</b> ドライバをインストールするには、管理者レベルのアクセス権が必要になります。ネットワーク管理者に連絡し、サポートを求めてください。</p>

## ガイド信号

プロジェクターの状態	説明	コントロールボタン		インジケータ	
		電源	温度 (オレンジ色)	ランプ (オレンジ色)	
スタンバイモード	スタンバイモードのプロジェクタ。電源を入れる準備ができました。	白 点滅	オフ	オフ	オフ
ウォームアップモード	プロジェクタをウォームアップして電源を入れるまでしばらく時間が掛かります。	白	オフ	オフ	オフ
ランプ点灯	通常モードのプロジェクタ。画像表示の準備ができました。 ☑ メモ：OSD メニューにアクセスしていません。	白	オフ	オフ	オフ
冷却モード	プロジェクタは冷却してシャットダウンします。	白	オフ	オフ	オフ
プロジェクタが過熱	通気口が塞がれているか、周囲温度が35°Cを超えていることが考えられます。通気口が詰まっておらず、周囲温度が動作範囲内にあることを確認します。問題が解消しない場合は Dell までお問い合わせください。	オフ	オレンジ色	オフ	オフ
ランプドライバが過熱	ランプドライバが過熱しています。通気口が詰まっていることが考えられます。プロジェクタは自動的にシャットダウンします。プロジェクタが冷却してからディスプレイの電源をもう一度入れます。問題が解消しない場合は Dell までお問い合わせください。	オレンジ色	オレンジ色	オフ	オフ
ファンが故障しています	ファンの1つが故障しました。プロジェクタは自動的にシャットダウンします。問題が解消しない場合は Dell までお問い合わせください。	オフ	オレンジ色 点滅	オフ	オフ
ランプドライバが故障しています	ランプドライバが故障しました。プロジェクタは自動的にシャットダウンします。3分間待ってから電源コードの接続を外し、ディスプレイをもう一度オンにします。問題が解消しない場合は Dell までお問い合わせください。	オレンジ色 点滅	オフ	オレンジ色 点滅	オレンジ色 点滅
カラーホイールが故障しています	カラーホイールは始動しません。プロジェクタが故障しました。プロジェクタは自動的にシャットダウンします。3分間待ってから電源コードの接続を外し、次に、プロジェクタをオンにします。問題が解消しない場合は Dell までお問い合わせください。	白	オレンジ色 点滅	オレンジ色 点滅	オレンジ色 点滅
ランプが故障しています	ランプが故障しています。ランプを交換します。	オフ	オフ	オレンジ色	オレンジ色
エラー - DC 供給 (+12V)	電源供給が中断されました。プロジェクタは自動的にシャットダウンします。3分間待ってから電源コードの接続を外し、次に、プロジェクタをオンにします。問題が解消しない場合は Dell までお問い合わせください。	オレンジ色 点滅	オレンジ色	オレンジ色	オレンジ色
ランプモジュールの接続が失敗	ランプモジュールの接続が途切れている可能性があります。ランプモジュールをチェックし、適切にインストールされていることを確認してください。問題が解消しない場合は Dell までお問い合わせください。	オフ	オフ	オレンジ色 点滅	オレンジ色 点滅

## レーザーカーテン LED ガイド信号

ステータス	説明	LED (白)	LED (赤)
インターロックスイッチ失敗	レーザーカーテンが正しく設置されておらず、インターロックスイッチが正しく配置されていません。レーザーカーテンの設置位置を確認してください。警告信号が作動し続ける場合は、サービスセンターまでご連絡ください。	点滅 (0.5 秒)	オフ
通常ステータス	レーザーカーテンは、正常に機能していません。	オン	オフ
レーザーダイオードは動作しません	レーザーモジュールが動作しません。サービスセンターにお問い合わせください。	オフ	オン

## ランプの交換

△ **注意**：この章で説明する交換処理の前に、8 ページにある「安全上のご注意」をお読みください。

メッセージ「ランプは全出力操作で耐用年数の終わりに達しています。交換をお勧めします。www.dell.com/lamps」が画面上に表示される場合は、ランプを交換してください。問題が解消しない場合は Dell までお問い合わせください。詳しくは、121 ページの「Dell へのお問い合わせ」をご覧ください。

△ **注意**：オリジナルのランプを使用して、プロジェクタの安全で最適な作業環境を確実にしてください。

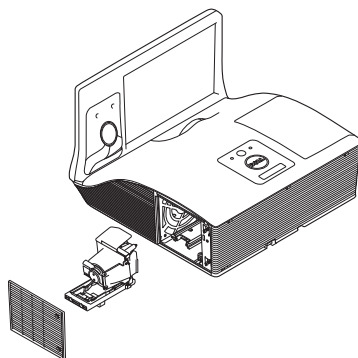
△ **注意**：ランプは使用中は大変熱くなります。ランプを交換する前に、少なくとも 30 分間プロジェクタを冷却します。

△ **注意**：電球やランプのガラスには絶対に触れないでください。プロジェクタのランプは壊れやすく、触れると破損することがあります。破損した鋭いガラスの破片で怪我をすることがあります。

△ **注意**：ランプが壊れた場合は、破片をすべてプロジェクタから取り除き、州や地域、国の法律に従って廃棄またはリサイクルしてください。詳しくは www.dell.com/hg をご覧ください。

- 1 プロジェクタの電源を切り、電源コードの接続を外します。
- 2 プロジェクタを少なくとも 30 分間そのままにして冷却します。
- 3 ランプカバーを固定している 2 本のネジを緩めてカバーを取り外します。
- 4 ランプを固定している 2 本のネジを緩めます。
- 5 金属製のハンドルを持ってランプを取り出します。

🔧 **メモ**：Dell は、保証によって交換したランプの返却をお願いする場合がございます。その他の場合は、お近くのゴミ収集場所の住所について、お住まいの地域のゴミ処理担当機関までお問い合わせください。




- 6 新しいランプと交換します。
- 7 ランプを固定する 2 本のネジを締めます。
- 8 ランプカバーを元に戻して 2 本のネジを締めます。

9 アドバンスメニューの OSD パワー設定のランプリセットで「はい」を選択してランプ使用時間をリセットします (50 ページの「詳細設定」メニューのパワー設定を参照してください)。新しいランプモジュールを変更すると、プロジェクタはランプ時間を自動的に検出しリセットします。



**注意：ランプの廃棄（米国のみ）**

 当製品内部のランプには水銀が含まれています。お住まいの地域、州および国の規定に従って廃棄してください。詳しくは、[WWW.DELL.COM/HG](http://WWW.DELL.COM/HG)、または、《米》エレクトロニクス産業協議会のウェブサイト [WWW.EIAE.ORG](http://WWW.EIAE.ORG) をご覧ください。ランプ別の廃棄方法については [WWW.LAMPRECYCLE.ORG](http://WWW.LAMPRECYCLE.ORG) をご覧ください。

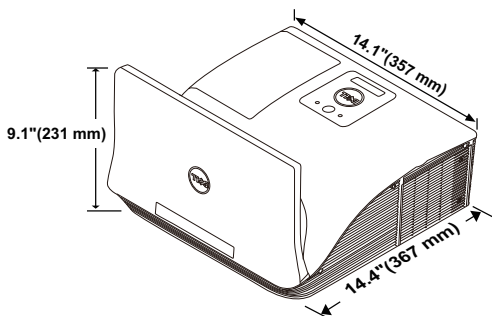
# 5

## 仕様

---

ライトバルブ	0.65" WXGA-800 S450 DMD、DarkChip3™
明るさ	3100 ANSI ルーメン (最大)
コントラスト比	ネイティブ : 2200:1 通常 高コントラスト比モード : 8000:1 通常
均質性	85% 標準 (日本規格 - JBMA 日本事務機械工業会)
画素数	1280 x 800 (WXGA)
縦横比	16:10
内部フラッシュャー	2 GB メモリ (最大)
表示可能な色	10.7 億色
カラーホイール速度	2 X 1 X (3D ディスプレイの場合)
投影レンズ	F ストップ : F/ 2.6 有効焦点距離 = 654 mm ± 10 mm @ 87.2 画面サイズ 1X マニュアルズームレンズ、固定 投影比 = 0.35 ワイドおよび望遠 オフセット比 : 125%±5%
投影画面サイズ	70 ~ 100 インチ (対角)
投影距離	1.7 ~ 2.49 フィート (0.517 ~ 0.759 m ± 0.01 m)
ビデオ互換性	コンポジットビデオ / S ビデオ : NTSC : M (3.58 MHz)、4.43 MHz PAL : B、D、G、H、I、M、N、60 SECAM : B、D、G、K、K1、L コンポーネントビデオ入力 (VGA 経由) : 1080i、720p、576i/p、480i/p HDMI 入力 : 1080p、720p、576i/p、480i/p

電力供給	ユニバーサル AC 100 ~ 240 V 50 ~ 60 Hz (PFC 入力付)
消費電力	通常モード : 345 W $\pm$ 10% @ 110 Vac (ネットワークオン) エコモード : 285 W $\pm$ 10% @ 110 Vac (ネットワークオン) スタンバイモード : < 0.5 W
オーディオ ノイズレベル	スピーカー 2 つ、10 ワット RMS 通常モード : 36 dB (A) エコモード : 32 dB (A)
プロジェクトアの重量	18.74 lbs (8.5 kg)
寸法 (幅 x 高さ x 奥行)	14.1 x 9.1 x 14.4 インチ (357 x 231 x 367 mm)



環境条件	動作温度 : 5 °C ~ 40 °C (41 °F ~ 104 °F) 湿度 : 80% 最大 保管温度 : 0 °C ~ 60 °C (32 °F ~ 140 °F) 湿度 : 90% 最大 輸送温度 : -20 °C ~ 60 °C (-4 °F ~ 140 °F) 湿度 : 90% 最大
I/O コネクタ	電源 : 1 つの AC 電源ソケット (3 ピン - C14 インレット) VGA 入力 : 2 つの 15 ピン D-sub コネクタ (青)、VGA-A & VGA-B (アナログ RGB / コンポーネント入力信号用)。 VGA 出力 : 1 つの 15 ピン D-sub コネクタ (黒) (VGA-A ループスルー用)。



Sビデオ入力：1つの標準4ピンミニ-DIN  
Sビデオコネクタ（Y/C信号用）。

コンポジットビデオ入力：1つの黄色 RCA  
ジャック（CVBS信号用）。

HDMI入力：1つの HDMI コネクタ（HDMI 1.4a  
のサポート用）。HDCP 準拠。

アナログオーディオ入力：2つの 3.5 mm ステ  
レオミニフォンジャック（青）と 2組の RCA コ  
ネクタ（赤／白）。

可変オーディオ出力：1つの 3.5 mm ステレオ  
ミニ電話ジャック（緑）。

USB（タイプ B）ポート：リモートサポート、  
ファームウェアアップグレード、レーザーカー  
テンタッチ HID 用ミニ USB スレーブ 1 式。

RS232 ポート：RS232 通信用ミニ 9 ピン D-sub  
1 式。

USB（タイプ A）ポート：マルチメディア再生  
（ビデオ／音楽／写真／オフィスビューア）およ  
び USB メモリストレージアクセス（USB フラッ  
シュドライブ／内部メモリ）用 USB コネクタ 1  
式。

USB（タイプ B）ポート：USB ディスプレイサ  
ポート用 USB コネクタ 1 式。

RJ45 ポート：1つの RJ45 コネクタ（ネット  
ワークと LAN ディスプレイを経由したプロジェ  
クタのコントロール用）。

マイク

1つの 3.5 mm ステレオミニ電話ジャック（ピ  
ンク）。

レーザーカーテン

レーザーカーテン駆動用の最大 DC 12 V / 200  
mA 出力 1 式。

## ワイヤレス

ワイヤレス標準：IEEE 802.11 a/b/g/n (2T2R)

OS 環境：Windows 8/7/Vista/XP/2000、  
MAC OS X

サポート：プレゼンテーションスライドとプロ  
ジェクタ制御。

同時に 30 人までのユーザーに接続できます。

4-to-1 分割画面。画面に 4 つのプレゼンテ  
ーションスライドを投射します。

会議制御モード。

オーディオ投影をサポートします（ドライバの  
インストールが必要になる場合があります。  
dell.com/support からダウンロードしてくださ  
い）。

MobiShow および WiFi-Doc 投影をサポートし  
ます。

## ランプ

OSRAM 280 W ユーザー交換可能なランプ

### ランプ寿命

通常モード：3000 時間

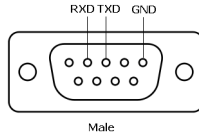
エコモード：4000 時間

ダイナミックエコサイクルモード：4500 時間



**メモ：**プロジェクタのランプ寿命定格は明るさの低下のみを測定し、ランプが故障し光の出力をやめるまでの時間を計る仕様ではありません。ランプの寿命は 50 パーセント以上のランプサンプル群が、指定されたランプに対して約 50 パーセントの定格ルーメンの明るさが減少するまでの時間として定義されます。ランプの寿命定格は、いかなる方法でも保証されません。プロジェクタランプの実際の動作寿命は操作条件と使用パターンにより異なります。埃っぽい環境、高温下および突然の電源遮断を含むストレスの多い条件で、長時間プロジェクタを使用すると、ランプの動作寿命が短くなったり、ランプが故障する原因となります。

## RS232 ピン割り当て



### RS232 プロトコル

- 通信設定

接続設定	値
ボーレート	19200
データビット	8
パリティ	なし
ストップビット	1

- コマンドタイプ  
OSD メニューをポップアップ表示して設定を調整します。
- 制御コマンド構文 (PC からプロジェクタへ)  
[H][AC][SoP][CRC][ID][SoM][COMMAND]
- 例：電源オンコマンド (ローバイトを最初に送信)  
--> 0xBE, 0xEF, 0x10, 0x05, 0x00, 0xC6, 0xFF, 0x11, 0x11, 0x01, 0x00, 0x01
- 制御コマンドのリスト

最新の RS232 コードについては、Dell Support サイト ([support.dell.com](http://support.dell.com)) をご覧ください。

最新の SNMP コマンドおよびリストについては、Dell Support サイト ([support.dell.com](http://support.dell.com)) をご覧ください。

## 互換モード（アナログ／デジタル）

解像度	リフレッシュ レート (Hz)	水平周波数 (KHz)	ピクセル・クロック (MHz)
640 x 350	70.087	31.469	25.175
640 x 480	59.940	31.469	25.175
720 x 480 p60	59.940	31.469	27.000
720 x 576 p50	50.000	31.250	27.000
720 x 400	70.087	31.469	28.322
640 x 480	75.000	37.500	31.500
640 x 480	85.008	43.269	36.000
800 x 600	60.317	37.879	40.000
800 x 600	75.000	46.875	49.500
800 x 600	85.061	53.674	56.250
1024 x 768	60.004	48.363	65.000
1280 x 720 p50	50.000	37.500	74.250
1280 x 720 p60	60.000	45.000	74.250
1920 x 1080 i50	50.000	28.125	74.250
1920 x 1080 i60	60.000	33.750	74.250
1280 x 720	59.855	44.772	74.500
1024 x 768	75.029	60.023	78.750
1280 x 800	59.810	49.702	83.500
1366 x 768	59.790	47.712	85.500
1360 x 768	60.015	47.712	85.500
1024 x 768	84.997	68.677	94.500
1440 x 900	59.887	55.935	106.500
1280 x 1024	60.020	63.981	108.000
1400 x 1050	59.978	65.317	121.750
1280 x 800	84.880	71.554	122.500
1280 x 1024	75.025	79.976	135.000
1440 x 900	74.984	70.635	136.750
1680 x 1050	59.954	65.290	146.250
1280 x 960	85.002	85.938	148.500
1920 x 1080	60.000	67.500	148.500
1024 x 768	119.989	97.551	115.500

# 6

## Dell へのお問い合わせ

---

米国内のお客様は 800-WWW-DELL (800-999-3355) までご連絡ください。



**メモ:** インターネット接続がない場合は、発注書、梱包明細書、請求書、または Dell 製品カタログにある連絡先情報をご覧ください。

Dell では、さまざまなオンラインおよび電話サポートとサービスを提供しております。ご利用については、お住まいの国および製品によって異なります。また、お住まいの地域でご利用いただけないサービスもございます。販売、技術サポート、お客様サービスに関する Dell へのお問い合わせ。

- 1 [www.dell.com/contactDell](http://www.dell.com/contactDell) を参照してください。
- 2 インタラクティブマップで地域を選択します。
- 3 連絡先のセグメントを選択します。
- 4 必要なサービスまたはサポートリンクを選択します。

## elInstruction へのお問い合わせ

elInstruction では、電話およびオンラインの技術サポートオプションをご用意しています。購入可能かどうかは国によって異なりますが、[techsupport@einstruction.com](mailto:techsupport@einstruction.com) に電子メールをお寄せいただければどの国のユーザーの方にも適切にご返事いたします。

USA elInstruction ソフトウェア技術サポート

電話番号：480-443-2214 または 800-856-0732

電子メール：Techsupport@einstruction.com

International elInstruction ソフトウェア技術サポート、EMEA

電話番号：+33 1 58 31 1065

電子メール：EU.Support@einstruction.com

Web での技術サポートは、

[www.einstruction.com](http://www.einstruction.com) でご利用いただけます（米国の場合）

[www.einstruction.de](http://www.einstruction.de) でご利用いただけます（ドイツ）

[www.einstruction.fr](http://www.einstruction.fr) でご利用いただけます（フランス）

[www.einstruction.it](http://www.einstruction.it) でご利用いただけます（イタリア）

[www.einstruction.es](http://www.einstruction.es) でご利用いただけます（スペイン）

## Crestron へのお問い合わせ

Crestron では、電話およびオンラインの技術サポートオプションをご用意しています。購入可能かどうかは国によって異なりますが、[getroomview@crestron.com](mailto:getroomview@crestron.com) に電子メールをお寄せいただければどの国のユーザーの方にも適切にご返事いたします。

テクニカルサポート

米国およびカナダでは

電話番号：877-516-5394

電子メール：roomviewsupport@crestron.com

米国およびカナダ以外では

電話番号：+1 201-367-1037

電子メール：roomviewsupport@crestron.com

# 7

## 付録：用語集

**ANSI ルーメン** — 明るさの単位です。1 平方メートルの画像を、9 つの同じ長方形に分割し、各長方形の中心のルクス（または明るさ）を測定して、9 つの点の平均値を求めて算出します。

**縦横比** — 最も一般的な縦横比は 4:3 (4 × 3) です。旧式のテレビやコンピュータビデオの形式は 4:3 縦横比です。つまり、画像の幅は画像の高さの 4/3 倍になります。

**明るさ** — ディスプレイや投影ディスプレイ、または投影デバイスから発する光の量です。プロジェクタの明るさは ANSI ルーメンで表されます。

**色温度** — 白光の色を表します。色温度が低いほど暖色（黄色または赤みが強い）であることを意味し、色温度が高いほど寒色（青みが強い）を意味します。色温度の標準単位はケルビン (K) です。

**コンポーネントビデオ** — 高品質のビデオを伝送する方法です。ルミナンス信号と 2 つの独立したクロミナンス信号から成り、アナログコンポーネントでは Y'Pb'Pr'、デジタルコンポーネントでは Y'Cb'Cr' と定義されます。コンポーネントビデオは DVD プレーヤーで使用できます。

**コンポジットビデオ** — ルーマ（明るさ）、クロマ（色）、バースト（色参照）、シンク（水平および垂直同期化信号）を 1 つのワイヤペアで伝送される 1 つの波形に統合するビデオ信号です。NTSC、PAL、SECAM の 3 つの形式があります。

**圧縮解像度** — 入力画像の解像度がプロジェクタのネイティブ解像度よりも高い場合に、画像をプロジェクタのネイティブ解像度に合わせて圧縮します。デジタルデバイスで圧縮すると画像コンテンツの一部が失われます。

**コントラスト比** — 画像の中の明るい部分と暗い位部分の範囲、または最大および最小値の間の比率を指します。プロジェクタ業界では 2 つのコントラスト比の測定方法が使われています。

- 1 **フルオン/ オフ** 完全に白い画像（フルオン）の光出力と完全に黒い画像（フルオフ）の光出力の比率を測定します。
- 2 **ANSI** — 16 の交互に並んだ黒と白の長方形のパターンを測定します。白い長方形からの光出力の平均を、黒い長方形からの光出力の平均で割り、ANSI コントラスト比を算出します。

同じプロジェクタでは、フルオン/ オフコントラストは ANSI コントラストよりも大きい値になります。



**dB** — デシベル — 通常は聴覚または電子信号の間で電力と強度の相対差異を表す単位で、2 レベルの比率の常用対数の 10 倍に相当します。

**対角画面** — 画面サイズまたは投影画像のサイズを測定する方法です。1 つの角から対角線上の角までを測定します。9 フィート高、12 フィート幅のスクリーンの対角は 15 フィートです。この文書では、上の例のように、対角寸法はコンピュータ画像の従来の 4:3 の比率用とみなします。

**DHCP** — 動的ホスト構成プロトコル — サーバを有効にするネットワークプロトコルは TCP/IP アドレスをデバイスに自動的に割り当てます。

**DLP®** — Digital Light Processing™ (デジタル光処理) — Texas Instruments 社が開発した反射型ディスプレイ技術、小型操作ミラーを使用。光がカラーフィルターを通して DLP ミラーへ伝送されます。DLP ミラーが RGB 色を画面に投影される画像に配色します。DMD とも呼ばれます。

**DMD** — Digital Micro-Mirror Device — 各 DMD には数千の傾斜角、微小なアルミ合金ミラーが隠れたヨークに搭載されています。

**DNS** — ドメイン名システム — ドメイン名を IP アドレスに変換するインターネットサービス。

**焦点距離** — レンズの表面からその焦点までの距離。

**周波数** — 電気信号の 1 秒当たりの周期の繰返し速度です。単位は Hz (ヘルツ) です。

**HDCP** — 広帯域デジタルコンテンツ保護 — DVI や HDMI などのデジタルインターフェイスを使いデジタルエンタテインメントを保護するために、Intel™ が開発した仕様です。

**HDMI** — High Definition Multimedia Interface (ハイデフィニション・マルチメディア・インターフェース) — HDMI は、デジタルオーディオ付きの未圧縮の高解像度ビデオとデバイスコントロールデータを 1 つのコネクタで伝送します。

**Hz (ヘルツ)** — 周波数の単位。

**IEEE802.11** — ワイヤレス LAN (WLAN) 通信用の標準セット。802.11b/g/n は 2.4 GHz 帯域を使用します。

**キーストーン補正** — プロジェクタと画面の角度が不適切なために起こる投影画像の歪み (通常、上部が広く下部が細くなる現象) を修正するデバイスです。

**最大距離** — プロジェクタが、完全に暗い部屋で使用可能な (十分に明るい) 画像を投影できる画面からの距離。

**最大画像サイズ** — 暗い部屋でプロジェクタが投影できる最大画像サイズ。通常、光学部品の焦点範囲によって制限されます。

**最小距離** — プロジェクタが画面上で画像の焦点を合わせることのできる最

小距離。

**NTSC** — National Television Standards Committee（全米テレビ放送規格委員会）。ビデオおよび放送用の北米規格、525 ライン・30 フレーム毎秒のビデオ形式。

**PAL** — Phase Alternating Line（走査線位相反転）。ビデオおよび放送用の欧州放送規格。625 ライン・25 フレーム毎秒のビデオ形式。

**画像の反転** — 画像を水平に反転する機能です。通常の前向き投射で使用すると、文字や画像などは後ろ向きになります。画像の反転は背面投射で使います。

**RGB** — 赤、緑、青 — 3色それぞれに別々の信号を必要とするモニタを指します。

**S-Video** — 4ピンのミニ DIN コネクタを使い、ルミナンス（輝度、Y）とクロミナンス（カラー、C）と呼ばれる2本のシグナルワイヤーでビデオ情報を送信するビデオ転送規格です。SビデオはY/Cとも呼ばれます。

**SECAM** — ビデオおよび放送用のフランスおよび国際的な放送規格、PAL に大変似ていますが、色情報の伝送方法が異なります。

**SSID** — サービスセット ID — ユーザーが接続を希望する特定のワイヤレス LAN を識別するために使用される名前。

**SVGA** — Super Video Graphics Array（スーパービデオグラフィックスアレイ）— 800 x 600 ピクセル。

**SXGA** — Super Extended Graphics Array（スーパー拡張グラフィックスアレイ）— 1280 x 1024 ピクセル。

**UXGA** — Ultra Extended Graphics Array（ウルトラ拡張グラフィックスアレイ）— 1600 x 1200 ピクセルカウント。

**VGA** — Video Graphics Array（ビデオグラフィックスアレイ）— 640 x 480 ピクセルカウント。

**WEP** — 有線と同等なプライバシー — これは、通信データを暗号化するための方法です。暗号化キーは通信されるユーザーに対してのみ作成され通知されるため、通信データが第三者により復号化されることはありません。

**XGA** — Extended Video Graphics Array（拡張ビデオグラフィックスアレイ）— 1024 x 768 ピクセル。

**WXGA** — Wide Extended Graphics Array（ワイド拡張グラフィックスアレイ）— 1280 x 800 ピクセル。

# 索引

## D

Dell への

お問い合わせ 121, 124

Dell へのお問い合わせ 5, 110, 113

## お

オンスクリーンディスプレイ 34

アドバンス 38

オーディオ EQ 38

オーディオ音量 37

輝度 / 明度差 36

言語 52

自動調整 36

入力選択 34

入力選択の無線 / USB 35

ビデオモード 37

ヘルプ 53

## さ

サポート

Dell へのお問い合わせ 121, 124

## し

仕様

I/O コネクタ 116

RS232 プロトコル 119

明るさ 115

オーディオ 116

画素数 115

カラーホイール速度 115

環境条件 116

均質性 115

コントラスト比 115

質量 116

消費電力 116

寸法 116

電力供給 116

投影画面サイズ 115

投影距離 115

投影レンズ 115

ノイズレベル 116

ビデオ互換性 115

表示可能な色 115

ライトバルブ 115

## せ

接続ポート

HDMI コネクタ 9

RJ-45 コネクタ 9

RS232 コネクタ 9

S ビデオコネクタ 9

USB ディスプレイ用 USB タイプ B コネクタ (DoUSB) 9

USB ビューア用 USB タイプ A コネクタ 9

VGA 出力 (モニターループスルー) コネクタ 9

VGA-A 入力 (D サブ) コネクタ 9

- VGA-B 入力 (D サブ) コネクタ 9
  - オーディオ -A 入力コネクタ 9
  - オーディオ -A 左チャンネル入力コネクタ 10
  - オーディオ -A 右チャンネル入力コネクタ 9
  - オーディオ -B 入力コネクタ 9
  - オーディオ -B 左チャンネル入力コネクタ 10
  - オーディオ -B 右チャンネル入力コネクタ 9
  - オーディオ出力コネクタ 9
  - コンジットビデオコネクタ 9
  - 電源コードコネクタ 9
  - マイクコネクタ 9
  - リモートマウス、ファームウェアアップグレード、レーザーカーテンタッチ HID 用ミニ USB (ミニタイプ B) コネクタ 9
  - レーザーカーテンコネクタ 10
  - HDMI ケーブルでの接続 20
  - RJ45 ケーブル 21
  - RS232 ケーブルを使ったコンピュータの接続 13, 14
  - RS232 (9 ピン D-sub メス - メスピンの 2 ~ 3 スワップ) ケーブル 13, 22
  - S ビデオケーブルでの接続 17
  - S ビデオケーブル 17
  - USB-A - USB-B ケーブル 14
  - USB-A - ミニ USB-B ケーブル 11, 23
  - VGA - VGA ケーブル 11, 12, 23
  - VGA - コンポーネントビデオケーブル 19
  - コンピュータへ 11
  - コンポーネントケーブルでの接続 19
  - コンジットケーブルでの接続 18
  - コンジットビデオケーブル 18
  - 商用 RS232 コントロールボックス 22
  - 電源コード 11, 12, 13, 14, 17, 18, 19, 20, 21, 22, 23
  - ホワイトボード 23
  - レーザーカーテン 23
  - プロジェクトの電源を入れる / 切る
    - プロジェクトの電源を入れる 25
    - プロジェクトの電源を切る 25
  - プロジェクトのフォーカス調整 26
  - フォーカスリング 26
- て
- 電話番号 121
- と
- トラブルシューティング 107
- Dell へのお問い合わせ 107
- ふ
- プロジェクトの接続
  - DC - DC ケーブル 23
  - HDMI ケーブル 20

## ほ

### 本体 7

10 W スピーカー 7

IR レシーバ 7

カメラ 7

フォーカスリング 7

ランプカバー 7

レンズ 7

## ら

ランプの交換 113

## り

リモコン 29